

業 務 報 告 書

～平成26年度実績～



平成27年11月

島根県浜田保健所

(表紙裏)

沿 革

浜田保健所の沿革

- 昭和19年12月：浜田市大字黒川1401番地に木造二階建（延506.6㎡）の本庁舎が開設された。（管轄：浜田市・那賀郡（人口116,901人）、職員14名）
- 昭和22年：保健所法改正に伴う保健所機構の整備により職員が6名増員となる。
- 昭和23年 4月：細菌検査浜田支所を統合。
- 昭和24年12月：島根県立川下病院を統合。
- 昭和26年 4月：A級保健所となり、8月には庁舎を増築（213.7㎡）、翌年2月には、総務課、保健予防課、衛生課、普及課の4課17係が設けられた。
- 昭和36年 8月：機構改革により、総務課、保健予防課、衛生課の3課6係となる。
- 昭和41年 3月：浜田合同庁舎が竣工。1階、2階が保健所となる。
- 昭和53年 4月：機構改革により、Ⅱ型保健所となり、総務課、保健予防課、環境衛生課、検査室の3課1室5係となる。
- 昭和58年 8月：浜田合同庁舎隣接地で建設を進めていた新庁舎が竣工した。

浜田健康福祉センターの発足

- 平成 6年 4月：住民に対して保健・医療・福祉の一体的サービスを図る観点から、那賀福祉事務所と浜田保健所が統合して、浜田健康福祉センターが発足した。
- 平成 8年 6月：島根県大気環境中央監視局が設置され、運用を開始した。
- 平成10年 4月：地域保健法の施行及び介護保険法の導入を視野に入れ、総務企画部、保健福祉部、環境衛生部の3部体制となる。
- 平成11年 4月：保健福祉部の再編成により、保健福祉課に係制を導入して本格稼働となる。
- 平成16年 4月：フラット化、グループ化により、課が廃止され、グループ体制になる。

地方機関の再編

- 平成17年 4月：機構改革により、浜田健康福祉センターが廃止され、浜田保健所と西部福祉事務所に再編される。浜田保健所は、総務保健部と環境衛生部の2部7グループ体制となる。検査グループは、県西部3保健所（浜田、県央及び益田）管内の感染症・食品衛生・環境衛生及び環境保全対策に係る検査の担当となる。
- 平成18年 4月：機構改革により、2部、6グループ・1担当体制となる。
- 平成25年 4月：組織改正により、2部、6課・1担当体制となる。

目 次

1 管内の概況	1
2 組織及び業務	2
総務担当	4
健康増進課	
1 健康長寿しまねの推進	5
2 生活習慣病予防対策	9
3 働き盛り世代の健康づくりの推進	12
4 母子保健対策	13
5 歯科保健対策	20
6 栄養改善対策	22
7 地域保健体制の整備	23
8 精神保健福祉対策	24
医事・難病支援課	
1 医療対策	31
2 難病対策	32
3 結核対策	37
4 エイズ対策	38
5 原爆被爆者対策	39
6 緩和ケア	39
7 骨髄バンク	39
衛生指導課・食品衛生機動監視課	
1 薬事対策	41
2 薬物乱用防止対策	42
3 献血の推進	42
4 食品衛生対策	42
5 感染症対策	46
6 動物管理対策	47
7 環境衛生対策	48
環境保全課	
1 大気汚染防止対策	50
2 水質保全対策	52
3 土壌汚染対策	53
4 ダイオキシン類対策	53

5	廃棄物処理対策一般廃棄物関係	54
6	廃棄物処理対策産業廃棄物関係	54
7	廃棄物の不法投棄等対策	55
8	P C B 廃棄物対策	55
9	自動車リサイクル対策	55
10	浄化槽対策	55
11	建築物衛生確保、衛生害虫対策	56
12	公害苦情処理	56
13	環境基本計画推進、普及啓発事業	57

検査課

1	感染症に関する検査	58
2	食品衛生関係等の検査	58
3	環境衛生関係検査	60

資料編

	浜田圏域の高齢化率と推計人口	61
	浜田圏域の人口動態	62

1 管内の概況

(1) 市町村合併

平成の大合併の進展に伴い、当管内でも浜田市と那賀郡の1市4町村、江津市と邑智郡桜江町の枠組みで合併に向けての協議が進められた。江津市と桜江町は、平成16年10月1日に合併を行い、新「江津市」面積268.51km²、人口27,821人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。また、浜田市と那賀郡4町村は平成17年10月1日に合併し、新「浜田市」面積689.44km²、人口63,128人（平成17年10月1日国勢調査値）の新市が発足した。

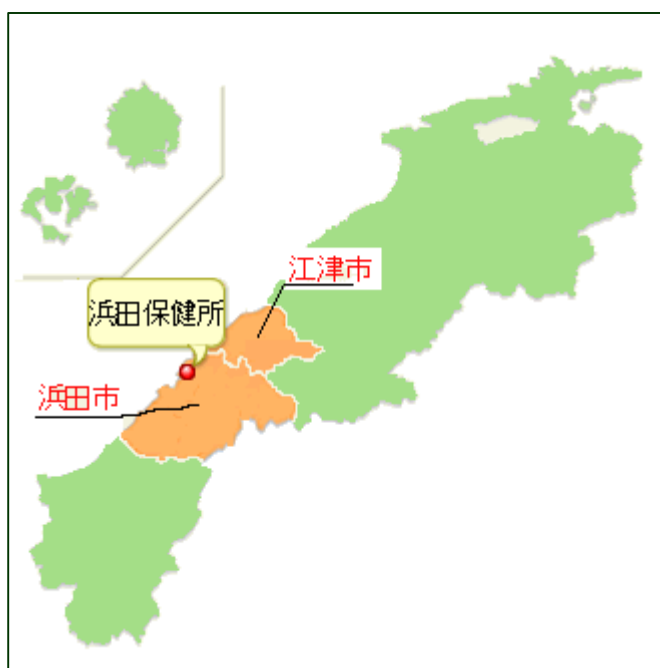
(2) 行政区域、地理的条件、交通事情

当所は、島根県西部に位置する浜田市に所在しており、平成24年度末の行政区域としては、浜田市、江津市の2市を管内としている。

管内の地理的条件は、日本海に面した海岸部を有するものの、山地が海岸線まで迫っており、総じて平野部は狭隘である。面積は957.95km²で、県全体の14.2%を占めているが、大部分が中山間地域に位置する林野となっている。

交通事情は、JR山陰線と国道9号線が海岸線に沿って東西に走り、また、在来の国道186号線が広島方面へ連絡している。さらに、平成3年に全線開通した中国横断自動車道が浜田市と広島市とを1時間半で結び、さらに平成15年には江津道路も開通し京阪神、九州方面との連絡時間も大幅に短縮された。

しかし、地域全体としてはバス路線が主要な公共交通機関であり、過疎地域で運行回数も少ないため、自家用車の使用に頼らざるを得ない状況である。



(3) 人口と高齢化の推移

管内の人口は、平成26年10月1日現在で83,744人(推計人口)で、県全体の12.0%を占めている。国勢調査に基づく管内の人口推移では、昭和30年をピークとしてその後の減少傾向は明らかで、平成7年以降、10万人を割り込んでいる。

また、稼働年齢層の県外転出と出生率の低下に伴って人口の高齢化が進んでおり、平成26年10月1日現在で管内の高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）は、33.7%、後期高齢者率（75歳以上の高齢者が人口に占める割合）は19.1%となっており、県平均のそれぞれ31.6%、18.1%を大きく上回っている。

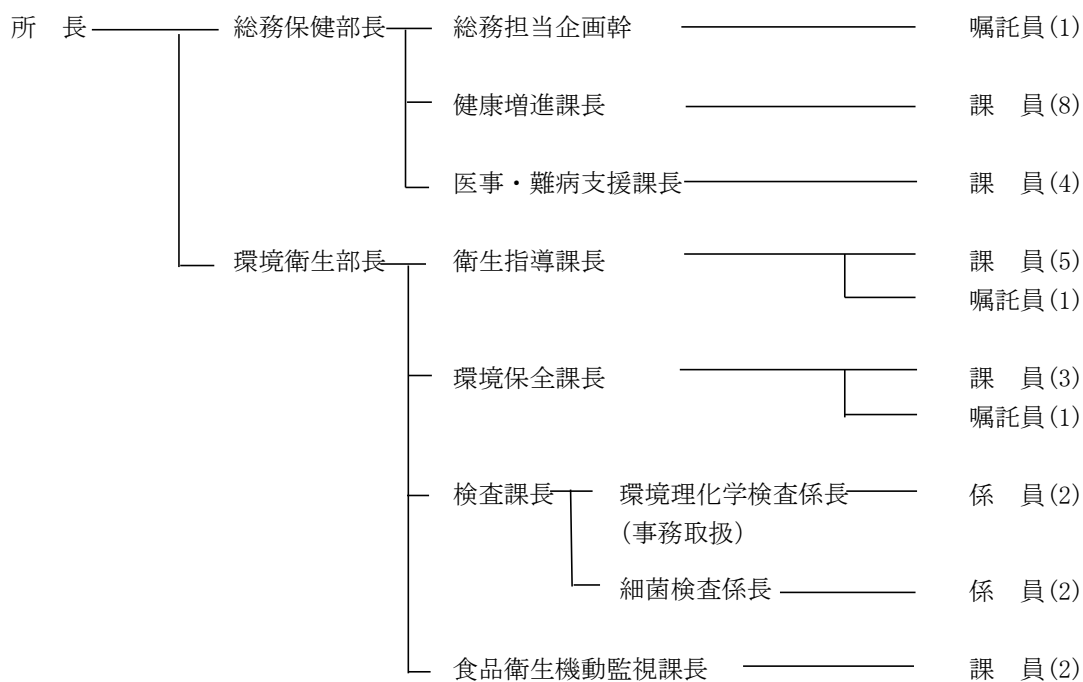
2 組織及び業務

(1) 職種別職員数

(平成27年3月31日現在)

	所長	総務保健部	環境衛生部	合計
行政職		5	10	15
事務		5	3	8
技術			7	7
医療職	1	11	10	22
医師	1			1
保健師		7		7
管理栄養士		1		1
診療放射線技師		1		1
歯科衛生士		1		1
臨床検査技師		1	4	5
獣医師			4	4
薬剤師			2	2
技能労務職				
予防技術員				
嘱託員		1	2	3
一般事務		1		1
狂犬病予防対策業務			1	1
廃棄物監視業務			1	1
合計	1	17	22	40

(2) 組織図



(3) 業務の概要

担当部・課名		業 務 内 容
総務保健部	総務担当	◇人事・服務 ◇庶務事務 ◇福利厚生 ◇統計調査（地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例、人口動態調査）
	健康増進課	◇健康長寿しまね推進事業 ◇精神保健福祉対策 ◇成人・老人保健対策 ◇健康づくり対策 ◇生活習慣病予防対策 ◇母子・乳幼児保健対策 ◇栄養改善対策 ◇歯科保健対策◇地域保健専門職員研修 ◇学生実習（保健師・栄養士）
	医事・難病支援課	◇医療提供体制の整備 ◇保健医療計画 ◇医師等医療従事者確保◇臓器移植等 ◇特定疾患対策 ◇感染症（結核）対策◇エイズ対策 ◇原爆被爆者対策 ◇難病患者支援対策 ◇ハンセン病対策 ◇緩和ケア対策 ◇医療安全相談
環境衛生部	衛生指導課	◇薬局等医薬品販売業の許可、指導 ◇毒物・劇物・麻薬・覚せい剤 ◇旅館・公衆浴場・理容所・美容所・クリーニング所等生活衛生関係の 営業許可 ◇温泉 ◇献血 ◇感染症予防対策 ◇食中毒の防止対策 ◇食品衛生関係の営業許可、指導 ◇水道・飲料水 ◇狂犬病予防 ◇動物愛護
	環境保全課	◇環境保全の普及啓発等 ◇地域環境保全計画の企画推進 ◇大気汚染防止対策 ◇フロン対策 ◇ダイオキシン類対策 ◇土壌汚染対策 ◇浄化槽対策 ◇水質汚濁防止対策 ◇廃棄物の減量化・適正処理対策 ◇建物の衛生確保対策 ◇ネズミ・衛生害虫相談 ◇公害等苦情処理 ◇大気環境常時監視テレメータシステムの管理運営
	検査課	◇公害検査 ◇環境衛生検査 ◇食品等の試験検査 ◇食中毒・感染症検査 ◇臨床検査
	食品衛生機動監視課	◇食品関係施設の広域的監視・指導

《総務担当》

1 総務事務

職員の人事・給与・福利厚生事務及び会計事務を行った。

2 防災及び災害対策関係業務

所内における防災体制の確立や緊急連絡網の整備並びに通信訓練の実施した。

3 安全衛生委員会の開催

職員の危険又は健康障害の防止及び健康の保持増進に関する事項を調査審議した。

開 催 日	開 催 場 所
平成26年11月18日	浜田合庁別館 3F 多目的室

4 情報化の推進

情報セキュリティ対策に関する職員研修を実施した。

5 統計調査

- 衛生行政報告例（年度報・隔年報）
- 地域保健・健康増進事業報告（年度報）
- 人口動態調査（毎月）

6 学生実習、講師派遣

(1) 学生実習

島根大学医学部（1名・20日）

(2) 講師派遣

浜田医療センター附属看護学校、浜田准看護学校

《健康増進課》

1 健康長寿しまねの推進

島根県では国に先立ち、平成11年8月「健康増進計画」（健康長寿しまね）を策定し、健康長寿しまね推進会議を中心に県民運動として健康づくりに取り組んできた。この取り組みの一環として、浜田圏域においても平成12年度に浜田圏域健康長寿しまね推進会議を設置し「浜田圏域健康長寿しまね推進計画」（平成13年度策定）をもとに運動を展開してきた。

中間年となる平成17年度には、中間評価を行い圏域の課題を整理し、活動テーマを「脳卒中死亡率の減少」と「壮年期の自殺予防」として圏域計画の推進を図ってきた。平成19年度の「島根県健康増進計画」（健康長寿しまね）の見直しに伴い、平成20年度には「浜田圏域健康長寿しまね推進計画～目標値改訂版～」を作成し、具体的な目標について再度見直しを行ったとともに、平成22年度までの計画期間をスライドさせ、最終年度を平成24年度とした。

この間、「禁煙推進」「歯と食」「運動・健康づくり」「心の健康づくり」の4つの部会を中心に健康づくりに取り組みを進めてきたが、平成22年度からは「運動」と「心」を統合させ「運動・心の健康づくり」とし、3部会として健康づくり、生きがいづくり、要介護状態の予防を三本柱に「健康長寿しまね」県民運動をより一層推進している。

平成25年3月には「第2次浜田圏域健康長寿しまね推進計画」を策定し、「健康寿命を延ばす」を目標とした活動がスタートした。第2次計画では、1次計画の考え方を継承し、さらに「未来へつながる健康で幸福（しあわせ）な石見のまちづくり」を圏域の基本理念として掲げ、健康づくりのための活動を進めている。

また、平成22年度に統合した「運動・心の健康づくり部会」を25年度より「運動・健康づくり部会」と「心の健康づくり部会」に分割し、4つの部会でテーマに沿った活動を継続している。構成団体数も29団体から37団体に増え、より一層活発な活動を行っている。

(1) 圏域健康長寿しまね推進会議事業の実施状況

平成26年度浜田圏域健康長寿しまね推進事業実績

区分	事業名	事業内容
① 圏域 会議 の 運 営	圏域 健康長 寿しま ね推 進会議 の運 営	<p>1. 圏域健康長寿しまね推進会議(構成団体数 37)</p> <p>(1) 総会(年2回)</p> <p>①7月3日 各構成団体からの前年度活動報告、各部会の前年度事業報告及び今年度事業計画了承、全県会議報告、各部会からのミニ講座～体験してみよう!～(禁煙推進部会より)、浜田圏域健康づくり応援団の今度の方向性について</p> <p>②12月11日 健康づくりグループ及び7024よい歯のコンクール表彰式、表彰者の紹介及び活動交流 ①うすあじみそ汁の試飲会 ～うすあじ料理研究事業～ ②表彰者からの活動報告 ③講演・演奏「音楽を通じて地域の健康づくりの輪を広げよう!」(音楽療法)、各部会の事業報告(中間報告)</p> <p>(2) 部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙推進部会 (①7月3日 ②3月19日) ・歯と食の部会 (①7月3日 ②3月26日) ・運動・健康づくり部会 (①7月3日 ②3月11日) ・心の健康づくり部会 (①7月3日 ②12月11日) <p>2. 健康づくりグループ表彰 圏域表彰:2グループ 対象:健康づくりに取り組んでいる地域または職場内のグループを表彰する。 表彰式:12月11日開催 (県健康づくりグループの伝達表彰及び7024よい歯のコンクールの合同表彰式、料理コンクール圏域代表作品の紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動交流の場として、各受賞者及び各受賞グループが日々の活動等を発表 <p>3. 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田保健所ホームページでの健康情報等発信 ・まめなたよりの発行(年2回) ・浜田市健康福祉フェスティバル、ごうつ健康まつりに参加し、推進会議の活動について情報発信

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	1. 禁煙推進部会	<p>1 たばこに関する正しい知識の普及啓発</p> <p>(1) 街頭キャンペーン(6月4日) 浜田商業高校、石見智翠館高校におけるチラシとグッズ配布</p> <p>(2) パネル展示(5月30日～6月9日) 浜田医療センター、済生会江津総合病院、島根県立大学浜田キャンパスにおけるたばこに関する展示</p> <p>(3) 来庁者、職員への啓発(5月30日～6月9日) 浜田合庁と浜田保健所におけるポスターの掲示と幟の設置</p> <p>(4) 関係機関、団体への周知 禁煙治療実施医療機関、がん検診啓発協力事業所、浜田圏域健康長寿しまね推進会議構成団体へのチラシの配布</p> <p>(5) 事業所への周知 メンタルヘルス出張講座実施時における禁煙啓発パンフレットの配布</p> <p>2 未成年者の喫煙防止対策の推進 小中学校における防煙・禁煙教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江津市立桜江中学校(1～2年) ・浜田市立弥栄小学校(5～6年) ・浜田市立松原小学校(6年) ・浜田市立金城中学校(3年) ・江津市立高角小学校(6年) ・江津市立桜江中学校(1～2年) <p>3 喫煙者の禁煙支援対策の推進 禁煙治療実施医療機関情報のホームページ掲載</p> <p>4 受動喫煙防止対策の推進</p> <p>(1) たばこの煙のない飲食店の登録・拡大 新規1店舗登録 計47店舗</p> <p>(2) たばこの煙のない理美容店の登録 新規1店舗登録 計27店舗</p> <p>5 たばこ対策の取組に関するアンケート実施 事業所を対象として対策取組状況に関するアンケートを実施</p>
		<p>1 7024よい歯のコンクールの開催 ※浜田江津歯科医師会主催事業の共催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募期間:9月1日～10月20日 応募者:35名 最優秀賞1名、優秀賞5名 <p>2 食育月間啓発における街頭キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月19日(水)ゆめタウン浜田、江津グリーンモールにおいてチラシ入りティッシュの配布・野菜摂取アンケート実施 <p>3 「わが家の一流シェフin島根」料理コンクール一次審査会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査会:10月20日(事前に部会員全員による書類審査を実施) ・圏域からの応募者:119名 ※圏域代表料理:目玉焼きの野菜あんかけ ※圏域推進会議特別賞:さけの野菜たっぷりバター蒸し焼き <p>4 歯と口の健康週間、いい歯の日の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜田合同庁舎でのパネル展示、街頭キャンペーン、浜田市PTA連合会での啓発 <p>5 健康づくり応援店の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外食を利用する人の健康管理を支援するため、メニューの栄養成分表示及び、健康情報を提供する飲食店を発掘 ※新規登録店 3店舗、廃止 3店舗、総店舗数 50店舗(平成27年3月現在) <p>6 「食に関するキャッチフレーズ」の普及、啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「野菜たっぷり・塩ちょっぴり」を新たなキャッチフレーズとし、イベント等で啓発 <p>7 しまね食育まつりin江津の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月7日(日)開催。ステージイベント、ブース展示、体験コーナー設置 <p>8 食育フェスタin浜田への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月15日(日) お口の体験遊び、アンケート調査の実施

区分	事業名	事業内容
② 圏域計画推進事業	3. 運動・健康づくり部会	<p>1 職場の健康づくり講演会及び優良事業所表彰の開催 ※内容については「地域・職域連携健康づくり推進協議会事業」に記載</p> <p>2 職場の健康づくり活動優良事業所表彰選考会 選考会:10月24日 応募事業所:6事業所</p> <p>会長賞 今井産業株式会社 特別賞 チェ美容室、西日本高速道路メンテナンス中国株式会社浜田保全事務所 奨励賞 さくらんぼのお家、風の里陽光苑</p> <p>3 普及啓発活動 (1)普及啓発 ・浜田版介護予防事業「元気アップ！まめなくん体操」啓発活動の実施（「元気アップ！まめなくん体操」DVD等の配布） ・ロコモ予防パンフレットの配布 ・+10(プラステン)を活用した職域と地域での取り組みの拡大（アクティブガイドの普及啓発）</p> <p>(2)ロコモ予防に関する研修会 開催日 平成27年3月11日(水)15:00～16:00 浜田合同庁舎 参加者 地域で健康づくりに取り組んでいる団体および個人 18名 内容 講演「あなたは大丈夫?『ロコモ』」及び 実技指導 講師 日本3B体操協会</p>
	4. 心の健康づくり部会	<p>1 普及啓発活動～心の健康づくり応援隊～ (1)心の健康づくりに関する部会内での学習会の開催(心のボランティア養成講座と共催) 日時:①10月28日(火)14:30～16:00、参加者:4名 ②11月6日(木)14:30～16:00、参加者:2名</p> <p>講師:①社会医療法人清和会西川病院 医局長 篠崎克也氏 ②社会医療法人清和会西川病院 医療相談室長 山本直紀氏</p> <p>講演:①「こころの病気について」 ②「精神障がい者への支援と対応について」</p> <p>(2)部会員による心の健康づくりに関する出前講座の周知啓発 <出前講座浜田保健所実施分> 内容:「職場における心の健康づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月28日 浜田コンピューターシステム 職員15名 ・6月18日 あさひ社会復帰センター 職員100名 ・6月24日 島根電工 職員40名 ・7月22日 浜田市学校給食 職員40名 ・9月17日 グループホーム みんなの家 職員18名 ・10月9日 あさひ社会復帰センター 職員130名 ・10月27日 ケーピー株式会社 職員17名 ・10月29日 島根職業能力短期大学校 職員14名 <p>(3)その他啓発(ケーブルテレビ、まめなたより、他機関広報誌等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月10日世界自殺予防デー街頭キャンペーンについてケーブルテレビによる啓発番組の撮影 ・まめなたよりへ記事掲載 <p>(4)心の健康に関する啓発グッズの作成、活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発ポケットティッシュを1000部配布

<p>4. 心の健康づくり部会</p>	<p>2 世界自殺予防デー街頭キャンペーン(がん征圧月間街頭キャンペーンと同時開催) 日 時:9月10日(水) 場 所:①江津グリーンモール 10:30～11:30 ②ゆめタウン浜田 16:00～17:00 ③キヌヤ金城店 17:00～18:00 参加者:①22名(関係者19名+事務局3名)、 ②29名(関係者26名+事務局3名) ③15名(関係者13名+事務局2名) 内 容:啓発用チラシ・グッズを計1000部配布、幟の設置、店内啓発放送 協力機関:浜田圏域健康長寿しまね推進会議、浜田圏域自死防止対策連絡会、 心の健康ボランティアのぞみの会、浜田圏域地域・職域連携推進協議会、 がん検診啓発事業所、がん検診啓発サポーター、がん予防推進員 乳がん自己検診指導者等</p>
---------------------	---

2 生活習慣病予防対策

浜田圏域は平均寿命及び平均自立期間が県下7圏域の中で最も低く、その延伸が最重要課題となっている。その要因の1つに県下で最も脳血管疾患死亡が多いことがあげられる。また、脳卒中がきっかけで認知障害や身体障害等の脳卒中後遺症者が増えている。脳卒中発症者とその家族に対し、急性期から維持期まで一貫した医療やリハビリ等が提供されるよう「脳卒中地域連携クリティカルパス」のスムーズな運用に向け取り組んでいる。

島根県保健統計によると、近年の浜田圏域におけるがんによる死亡は1年間に約350人で推移しており、死亡原因の第1位である。大腸がん・乳がん・子宮がんについては、年齢調整罹患率は県平均より低い、年齢調整死亡率はやや高くなっている。

糖尿病対策については、糖尿病対策推進会議において平成25年度 浜田圏域「糖尿病管理のしおり」を作成し、関係機関との連携を図っている。

(1) 脳卒中予防対策

島根県脳卒中等情報システム及び、平成17年から開始している「脳卒中発症者状況調査」から得られたデータを把握・分析し、脳卒中発症予防、再発予防、重症化予防の取り組みを進めてきた。平成20年度には、急性期から回復期のクリティカルパスを4病院(浜田医療センター、済生会江津総合病院、益田赤十字病院、益田医師会病院)を中心に検討・作成し、21年度に運用を開始した。その運用と共に、急性期病院が提供する退院連絡票を基に、データの評価分析や管内両市での訪問に活かしている。

名称	開催日	参加者	内 容
ワーキング会議	平成26年9月11日	浜田市、江津市、保健所 6名	1 脳卒中発症者訪問調査についての情報共有 1) 面接票 2) 指導時の資料 3) かかりつけ医との連携 2 脳卒中発症状況調査のまとめ 3 脳卒中对策における取り組み紹介
保健活動検討会・研修会	平成26年7月10日 平成27年2月25日	浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田市、江津市、保健所 【1回目:23名】 【2回目:17名】	<1回目> テーマ:圏域の健康課題から脳卒中对策を考える 1 全県からみた浜田圏域の健康実態について 2 講話「脳血管疾患対策なにをめざすのか」 3 脳卒中発症予防の取り組み 4 意見交換・グループワーク <2回目> テーマ:脳卒中発症・再発予防のための効果的な保健指導をめざして 1 活動紹介 1) 病院の立場から 2) 行政の立場から 2 意見交換・グループワーク
脳卒中予防研修会	平成26年8月19日	介護支援専門員、保健師、看護師、浜田市、江津市、保健所 等 46名	1 浜田圏域における健康課題 (浜田保健所長) 2 講演 「脳卒中の病態、治療並びに発症予防のポイント」 浜田医療センター 脳神経外科部長 加川隆登 氏 3 意見交換
【参画】 脳卒中地域連携クリティカルパス合同委員会	平成26年7月25日	浜田医療センター、益田赤十字病院、益田医師会病院、済生会江津病院、浜田市、江津市、益田・浜田保健所	1. 地域連携パスの運用状況 2. 浜田圏域脳卒中对策事業に関する報告 3. 意見交換

(2) 糖尿病予防対策

名称	開催日	参加者	内 容
浜田圏域糖尿病対策推進会議専門部会	平成26年6月16日	管内医師会代表、糖尿病専門医、透析医、浜田市、江津市、保健所等 9名	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の糖尿病対策について 糖尿病対策の評価について 慢性腎臓病(CKD)対策について 世界糖尿病デーの取り組みについて
浜田圏域糖尿病対策推進会議	平成27年3月13日	管内各医師会糖尿病対策担当理事、浜田江津歯科医師会、西部糖尿病療養指導相談会、浜田地区栄養士会、浜田市、江津市保健所等 17名	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度の取組状況について 「島根県糖尿病予防・管理指針」について 「浜田圏域糖尿病管理のしおり」について 次年度の取組について
啓発活動	平成26年10月19日	地域住民 230名	<p><浜田駅北医療フェスタへの参加> 場所: 浜田医療センター駐車場 内容: 血糖測定、血圧測定、相談、糖尿病友の会の紹介、パネル展示等 コーナー来場者: 約230名</p> <p>※同様の啓発活動をごうつ健康まつりでも糖尿病療養指導相談会が企画、運営して実施。事前準備、調整の支援を行った。</p>
研修会			<ul style="list-style-type: none"> 保健所主催の研修は未実施。関係者へ他団体主催研修案内を実施 石見糖尿病談話会(H26.5.15, H26.8.28, H26.12.20) 第7回島根県糖尿病協会糖尿病療養指導研修会において「浜田圏域糖尿病対策推進会議の取組」報告(H26.9.7)

(3) がん予防対策

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会の開催	浜田圏域乳がん検診精度管理委員会	平成26年 12月3日	がん検診・精密検査実施医療機関、環境保健公社、浜田市、江津市、保健所 19名	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診を取り巻く最新情報について ・浜田圏域における乳がん検診精度管理の取組について ・浜田圏域乳がん検診精度管理委員会の今後のあり方について
	浜田圏域がん対策担当者連絡会	平成27年 2月18日	環境保健公社、浜田市、江津市、保健所 8名	<ul style="list-style-type: none"> ・がんを取り巻く状況について ・がん検診の受診率向上に向けて
子どもに対するがん教育	がん教育出前授業への協力・支援	平成26年 7月15日	会場：江津市立青陵中学校 主催：県健康推進課、県保健体育課 後援：江津市教育委員会 協力：日本対がん協会 参加人数：140名	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・講演：中学生と一緒に「がん」を学ぼう ・講師：順天堂大学大学院臨床薬理学 佐藤一洋医師 ・意見交換会
		平成26年 11月19日	会場：県立浜田高校 対象：定時制課程 昼間部 主催：県健康推進課、県保健体育課 参加人数：49名 生徒・がんサロン 県内学校職員 市町村・保健所職員	【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・講演：◆がんの話 ・講師： 浜田保健所 中本所長 ◆がん患者さんの話 (命の大切さについて学ぶ) ・意見交換会
その他啓発活動	<p>○がん征圧月間(9月)、がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)の取組</p> <p>(1)街頭キャンペーン(9月10日) ゆめタウン浜田、江津グリーンモール、キヌヤ金城店における啓発チラシ・グッズの配布(1000部) ※世界自殺予防デーのキャンペーンと同時に実施</p> <p>(2)関係機関・団体への周知 街頭キャンペーン参加依頼に併せた周知</p> <p>(3)浜田合庁・保健所来庁者・職員への周知(9月10日～16日) 浜田合庁・保健所における啓発幟やチラシの設置</p> <p>○がん検診啓発協力事業所の登録拡大</p> <p>○職域保健関係会議等における啓発 内 容：検診受診勧奨啓発チラシの配布、がん対策の取組についての情報提供</p> <p>○啓発幟・乳がん自己検診啓発DVD等の貸出</p>			

3 働き盛り世代の健康づくりの推進

働き盛り世代を対象に行われている保健事業は、根拠法令の違いによって制度間のつながりがないことから、地域保健と職域保健の広域的な連携を図り、継続的な健康管理に関する支援体制を整備することが全国的にも課題となっている。

浜田圏域の現状をみると、壮年期(40～64歳)の年齢調整死亡率が男女とも県内で最も高く(【男性】島根県:418.1、浜田圏域:474.0【女性】島根県:179.1、浜田圏域:222.2)、疾患別の死亡原因は、①がん ②自死 ③脳血管疾患 の順で多くなっている。(2010年を中心とした5年平均)

このような状況を受けて、浜田圏域では当面の重点目標を「脳卒中による死亡率の減少」と「自死の防止」の2点とし、健康長寿しまね推進会議等と連携して対策に取り組んでいる。

地域・職域連携推進事業

	名称	開催日	参加者	内 容
検討会の開催	浜田圏域地域・職域連携推進協議会	平成26年10月16日	浜田市医師会、江津市医師会、江津商工会議所、島根県商工会連合会石見事務所、全国健康保険協会島根支部、島根県環境保健公社浜田支所、浜田労働基準監督署、島根産業保健総合支援センター、浜田市、江津市、保健所(15名)	1. 協議会設置要綱について 2. 浜田圏域における壮年期の健康状況について 3. 今年度の取組について
啓発イベントの開催	事業主セミナー打合せ会	平成26年 ①9月16日 ②10月16日	①浜田労働基準監督署、島根産業保健総合支援センター、浜田地域産業保健センター、島根労働基準協会浜田支部、管内商工会議所・商工会、浜田市、江津市、保健所(14名) ②浜田労働基準監督署、島根産業保健総合支援センター、保健所(6名)	①・開催内容について ②・講演会当日の具体的内容について ・講演会当日までの事前準備について
	職場の健康づくり講演会	平成26年12月12日	67名(59事業所及び関係団体)	1. 事業所の健康づくり活動について ・優良事業所表彰 ・表彰事業所による事例発表 (今井産業株式会社 総務部長 今井泰之氏) 2. 行政説明「浜田圏域における壮年期の健康状況と事業所の取組状況について」 (浜田保健所 健康増進課) 3. 講演「事業所における健康管理の必要性とその取組方法について」 (一般財団法人京都工場保健会 診療所副所長 森口次郎氏) 4. 意見交換「各事業所の取組について」 5. お知らせ (浜田市・江津市・浜田保健所・島根産業保健総合支援センター)
その他啓発活動等				○メンタルヘルス出前講座の実施 ※詳細は「心の健康づくり部会」に記載 ○江津市職域保健部会への参画(8月22日、11月14日、3月9日)

4 母子保健対策

母子保健対策は、母子保健法、児童福祉法を基本として次の世代を担うこどもたちを心身ともに健康に生み育てるために、思春期から一貫した対策を行っている。地域保健法の全面施行により平成9年度から住民に身近な保健サービスは市町村において実施し県はより専門的広域的な課題に基づく母子保健事業を実施している。平成25年度より、未熟児養育医療給付事業や育成医療支給事業が市町村へ権限委譲となった。

浜田圏域においては親と子が健やかに安心して暮らせる社会づくりの推進のため「浜田圏域健やか親子しまね後期計画」（平成20年度から平成24年度）を策定し、平成24年度は評価・次期計画の作成を行った。平成25年度からは新計画を策定し、関係機関が一体となり計画の推進を図っている。

(1) 母子保健推進体制の充実

母子保健推進協議会

開催日	参加者	内容
平成26年9月18日	浜田市医師会、浜田医療センター、浜田市保育連盟、江津市保育研究会所長部会、浜田市教育研究会養護部会、浜田市民生児童委員協議会、浜田市子育て支援課子育て支援センター、江津市子育て支援課子育てサポートセンター、浜田市子育て支援課、江津市子育て支援課、浜田児童相談所、浜田教育事務所、浜田保健所 計21名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜田圏域の母子保健の状況について ・ 「浜田圏域健やか親子しまね計画」について ・ 課題4「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減について」

母子保健担当者会

開催日	参加者	内容
平成26年7月14日	管内市母子保健担当者、保健所職員等 計14名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健やか親子21について ・ 平成26年度島根県母子保健事業について ・ 平成26年度浜田圏域母子保健事業について ・ 乳幼児健康診査マニュアル改訂について

(2) 周産期医療体制検討会

圏域における周産期医療体制の現状を共通認識し、体制整備を図るため、関係者による検討会を開催

開催日	参加者	内容
平成27年3月6日	管内分娩施設の医師・看護師長等、産科診療所の医師、浜田市、江津市、保健所 計18名	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田圏域周産期医療連携体制検討会設置要綱（案）について ・周産期医療、保健の現状について ・島根県保健医療計画 浜田圏域編（周産期医療）について ・周産期医療体制の充実に向けた取り組みについて ・地域における妊産婦への支援体制の充実について

(3) 周産期からのメンタルヘルス支援・子育て支援に関する研修会(地域保健専門職員研修)

産後うつ病について理解を深め、圏域における産後うつ病の早期発見、早期支援のための体制づくり、産後の母親、児、家族が暮らしやすい地域づくりを目指すために研修会を開催

開催日	参加者	内容
平成26年12月1日	医療機関関係者、市町村関係者、保健所職員、その他母子保健に係る関係者等 計15名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「産後うつ病と『エジンバラ産後うつ質問票』の効果的な活用法について」 講師：島根県障がい福祉課 鈴宮寛子医療企画監 「地域づくりとしての産後うつ病対策」 講師：島根県浜田保健所 所長 中本稔 ・意見交換及び質疑応答

(4) 浜田圏域母子保健事業に関する担当者会

開催日	参加者	内容
平成26年7月14日	浜田市、江津市、浜田保健所 計13名	<ul style="list-style-type: none"> ・健やか親子21について ・平成26年度島根県母子保健事業について ・平成26年浜田圏域母子保健事業について

(5) 長期療養児支援事業 医療的ケア必要児等ハイリスク児保健・医療連携事業

相談・訪問指導実施件数

		回数	実人員	延人員	内訳								(再掲)	(再掲)	
					申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学・学校	食事・栄養	歯科	その他	医療的ケア	新規申請	重症
相談指導	小慢対象児		2	10	1				2			7	1		
	その他		1	1											
	合計		3	11	1				2			7	1		
訪問指導	小慢対象児														
	その他		1	8								1			
	合計		1	8								1			

◇親子交流会

- ・日本二分脊椎症協会島根支部第12回総会への参加（平成26年6月14日）

(6) 母子保健に関する統計

[妊娠届出の状況]

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
妊娠届出数	613	628	610	631	665
満11週以内	548	570	559	562	609
満12～19週	55	39	46	54	47
満20～27週	6	5	3	7	8
満28週以上	1	1	1	3	1
分娩後			1	1	0
不詳	3	13	0	4	0

※母子保健集計システム

[出生数及び低体重児の出生状況]

項 目	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出生数	642	609	593	591	603
低体重児出生数	56	73	81	66	
出生割合	8.7	12.0	13.7	11.2	

※人口動態統計

[妊婦、乳幼児健康診査等の実施状況]

項目	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	妊婦一般	受診票交付数	1,242	1,256	1,220	1,262
	延受診者数	1,094	1,257	1,168	1,216	1,167
	受診率 (%)	88.1	100.1	95.7	96.4	87.7
乳児一般	受診票交付数	1,242	1,244	1,218	1,098	1,210
	延受診者数	893	899	866	845	795
	受診率	71.9	72.3	71.1	77.0	65.7
1歳6カ月児	該当児数	607	654	625	634	566
	受診者数	590	628	588	612	547
	受診率	97.2	96.0	94.1	96.5	96.6
3歳児	該当児数	665	618	633	633	622
	受診者数	640	593	603	596	608
	受診率	96.2	96.0	95.3	94.2	97.7

※母子保健集計システム

[人工妊娠中絶、不妊手術の状況]

(平成26年度)

件数	件	年齢階級別実施件数									
		20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳以上	不詳	計
人工妊娠中絶		11	19	17	25	29	13	1	0	0	115
7週以前		5	12	10	19	21	9	1	0	0	77
8～11週		6	7	7	6	8	4	0	0	0	38
12～15週		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16～19週		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～21週		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不妊手術		0	0	3	3	5	0	0	0	0	11

※人工妊娠中絶件数 管内者 93 件、管外者 22 件

※不妊手術件数 管内者 10 件、管外者 1 件

〔小児慢性特定疾患治療申請状況〕

(平成26年度)

	悪性新生 物	慢性心疾 患	ぜんそく	慢性心疾 患	内分泌疾 患	膠原病	糖尿病	先天性代 謝異常	血友病血 液疾患	神経筋疾 患	慢性消化 器疾患	計
申請件数	7	3	0	6	17	1	4	5	5	2	3	53

〔特定不妊治療費助成件数〕

(平成26年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請件数	2	2	4	3	1	7	3	4	6	6	8	13	59

市町村母子保健事業一覧(平成26年度)

市町村名		浜 田 市	江 津 市		
H26年出生数		442人	151人		
妊娠・出産包括支援事業 *必須・任意事業の内容					
青年 思春 期	講演会・教室・フォーラム等	学校等へ性教育教材貸し出し 赤ちゃん登校日(主担:教育委員会) 浜田:中高生ヤング子育てサポーター育成事業 三隅:小学生赤ちゃんふれあい体験(社協事業への協力)	高校生ヘルシークッキング年3回		
妊娠中	妊娠届出の対応	母子手帳交付とともに保健指導を実施 妊娠届出用紙に虐待リスク把握のアンケート項目を追加している 保健指導・栄養指導・食生活アンケート	母子手帳交付 保健指導、栄養指導 生活アンケートをとり、虐待予防の視点をもって対応		
	健康相談	電話相談、窓口相談(随時) 転入時母子保健サービス紹介とともに保健指導実施	電話相談、窓口相談を随時実施		
	妊婦健診(委託健診)	妊婦一般健康診査(14回) 県内医療機関委託、県外も可能	妊婦一般健康診査(14回) 県内医療機関委託		
	妊婦歯科健診	1歳6か月健診時希望者のみ実施	母子手帳交付時に健診を勧める		
	妊婦訪問	必要時	必要時		
	妊婦に関する教室活動	ママパパ学級(計12回)・音楽リラクゼーション(月2回)・妊婦さんのおっぱい相談(月1回)・相談事業	パパママ教室(年12回)、おっぱい相談(年12回)		
出生	出生届出時の保健指導	出生届出時に、母子保健・子育て支援サービス紹介、予防接種の説明に加え母子の健康状態把握し、保健指導実施・こんには赤ちゃん訪問のPR	母子の健康状態把握、予防接種手帳の発行、赤ちゃんの手引き配布(健診・相談)、訪問のPR、母子保健サービスの説明		
新生児・乳幼児期	こんには赤ちゃん事業 *訪問者、継続支援の方法等		訪問者:専門職及び市職員(保健師・委嘱助産師・看護師・栄養士等)、ボランティア等一般の人(子育て応援隊等) 継続支援が必要な対象者に対しては、訪問、乳児健診、その他母子保健事業・子育て支援事業において継続支援する。	保健師(2名)、市内保育士(12名)看護師(2名)で訪問 訪問の状況から必要なケースは保健師が継続。その他必要な支援サービスへの調整などを行う。	
	養育支援訪問事業 *中核機関名、サービス等		中核機関:浜田市子育て支援課 対象家庭に対し、電話、訪問等による積極的アプローチを行い、養育に関する必要時応じたきめ細かい助言指導を行う。困難及び緊急事例については、児童家庭相談係(要保護児童対策地域協議会調整機関)へ報告し対応を協議、必要に応じ児童相談連絡会(月1回)で関係機関と連携し、対応を検討する。	児童福祉法に基づく母子保健事業として、養育支援の必要な対象者について関係機関と連携している	
	訪問	新生児	委嘱助産師保健師による訪問(出生連絡票による希望者、その他希望者、必要時) 必要時保健師による(ハイリスク者) こんには赤ちゃん事業による訪問	病院から連絡訪問依頼ケース(ハイリスク児) 必要なケース(育児不安の強いケース)	
		乳児	こんには赤ちゃん事業による訪問 必要時	健診未受診児、要観察児	
		幼児	必要時	健診未受診児、要観察児	
	健康診査	乳児	医療機関委託健診	乳児一般健康診査(1か月・10か月) 県内医療機関委託	
		乳児	集団検診	年12回(4~5か月)	年6回(3~5か月)
		1歳6か月児		年12回(1歳6か月~1歳7か月)	年6回(1歳6か月)
		3歳児		年12回(3歳3か月~3歳4か月)	年6回(3歳4か月~3歳5か月)
		その他			
未受診者対策			郵送にて勧奨、次回呼び出し、訪問、園巡回時発達等の確認	郵送で勧奨、訪問、保育園巡回相談時発達等の確認	

市町村名		浜田市	江津市	
新生児・乳幼児期	教室	離乳食等	離乳食講座（毎月実施） 幼児食講習（毎月実施） 浜田：子育て広場（年12回×浜田5地区） 三隅：みすみ子育て広場（社会福祉協議会月1回、三隅支所月2回（育児相談を含む）公民館毎週1回） 金城・旭・弥栄：育児相談・子育てサロンにあわせて実施	年24回（2会場で実施、健康相談と同時） 離乳食教室（年12回、月齢別で開催） 年6回（乳児健診と同時実施）
		乳児	ひよこの会（1歳未満児と保護者の会）・すくすく講座（年6回）・音楽リラクゼーション（月2回）・絵本の会（月2回）・手作り布おもちゃの会（月1回）・育児相談、測定（週2回）・親子ふれあい遊び（月1回）・親子体操（月1回）・すくすくママの集い（年6回）	子育てサポートセンター主催：ふれあい遊び・赤ちゃん講座・ベビー3B体操など
		幼児		出前講座：「早寝早起き朝ごはん」「むし歯予防」など 希望により随時開催
	歯科保健	教室	浜田：在宅児年4回（フッ化物歯面塗布とあわせて個別歯科指導実施）旭：在宅児年2回（フッ化物歯面塗布とあわせて個別歯科指導実施）	年2回むし歯予防教室 歯科教室（思春期を対象に年10回程度）予定
		フッ化物塗布	浜田：在宅児年4回、各保育園・幼稚園年2回ずつ 金城・弥栄・三隅：各保育園年2回 旭：在宅児年2回	年2回むし歯予防教室にて歯科検診と同時実施 各保育園・幼稚園 年2回ずつ 1歳6ヶ月健診時（年6回）
		フッ化物洗口	小中学校（教育委員会の事業）	市内4校で実施（教育委員会事業）
	子育て相談	来庁者随時 子育て支援センター育児相談（週2回、保健師、栄養士、保育士、助産師、歯科衛生士による相談）、ママのこころの相談、その他随時メール・電話相談 金城・三隅・旭：月1回育児相談実施、弥栄：年6回育児相談実施	年24回（2会場で実施、離乳食相談と同時） 子育てサポートセンターにて随時実施（メール・電話等）、 子育てサポートセンター主催事業時の個別栄養相談（年48回） おっぱい相談（江津会場 年12回）	
	その他子育て支援事業（ブックスタート事業他）	転入時、乳幼児に母子保健・子育て支援サービス紹介、予防接種紹介とともに保健指導実施 浜田市子育て応援隊育成事業 乳児健診時に読み聞かせ及び絵本のプレゼント 乳幼児期からの生活習慣づくりモデル事業 旭：子育てサロン・広場（社会福祉協議会事業）への職員派遣	子育てサポートセンター事業： 食育講座 命の大切さを知るところの教育（小学生・中学生・高校生セミナー） ボランティア育成講座 こどもまつり（6月）・クリスマスコンサート（12月） 乳児健診時に読み聞かせ及び絵本のプレゼント、3歳児健診時での絵本の読み聞かせ	
	障害児等	ミニ療育教室	風の子委託	自立支援法により西部島根医療センターにおいて実施
		発達クリニック	年12回すこやか健診	年12回発達健康相談
障害児相談等		随時 保育所幼稚園巡回相談 三隅聖こう察巡回相談 年中児発達アンケートの実施 おしゃべり会の開催（障害児を持つ親の会）	保育所巡回相談（7～10月） 発達フォロー児（在宅）を対象に健康相談を実施（年10回）	
推進体制	会議等	浜田市保健医療福祉協議会 要保護児童対策地域協議会（児童福祉） 浜田市特別支援連携協議会（教育委員会） 相談 支援チーム検討会（年3回） 母子保健スタッフ連絡会 ケース検討会、金城げんきっ子運動推進委員会（教育委員会）、三隅自治区特別支援教育連絡会	要保護児童対策地域協議会 ごうつつすく相談ネット協議会 健康づくり推進協議会母子保健部会 子育てサポートセンター・支援センター等事業連絡会	
	母子保健推進員（人）	0人	0人	
	委嘱助産師等（新生児訪問）（人）	助産師3人	0人	

5 歯科保健対策

○80歳20本の歯推進事業

8020の達成を目指すため、「島根県歯と口腔の健康づくり計画」及び「浜田圏域保健医療計画」に基づき、関係機関と連携を図り、ライフステージに沿った歯科保健対策を推進する。

1) 歯科保健定着促進事業

(1) 歯科保健連絡調整会議

開催日	内 容	出席者
平成27年2月5日	【情報提供】 1 浜田圏域の現状について 2 歯科衛生士法の一部改正について 【協議】 1 平成26年度の取組と次年度に向けて 2 アクションプランについて	・浜田江津歯科医師会 ・島根県歯科衛生士会浜田支部 ・島根県環境保健公社浜田支所 ・浜田市 ・江津市 ・浜田市教育委員会

(2) 歯科保健検討会

開催日	内 容	出席者
平成26年11月4日	1 ライフステージごとの取組 ・浜田保健所 ・浜田市 ・江津市 2 アクションプラン(案)について 1) 乳幼児期～生徒期について意見交換 3 学童期歯科保健研修会について	浜田市 江津市 浜田市教育委員会 江津市教育委員会 浜田保健所

(3) 歯科保健研修会

開催日	内 容	参加者
平成27年2月19日	1 報告:「浜田圏域の歯科保健の現状」 2 取組紹介:「学校における『かミング30』体験実施マニュアル」 3 事例発表:「歯と口腔の健康づくりのために支援していること」 ・浜田ろう学校 ・三階小学校 ・江津中学校 4 グループワーク	小学校 中学校 県立学校 歯科医師 歯科衛生士 行政 等 合計34名

2) 市支援

(1) フッ化物洗口技術支援

- ・浜田ろう学校の学校保健委員会へ参加

(2) フッ化物歯面塗布事業

- ・歯科衛生士法の一部改正に伴い、今後の実施体制について両市ともに検討。

(3) 人材確保への支援

- ・市町村歯科保健事業への人材確保調整(江津市)
- ・地域歯科衛生士の資質向上のための連絡会の開催(浜田市;2か月に1回開催、江津市;年3回開催)

3) 啓発事業

(1) 「親と子のよい歯のコンクール」 地区大会

- ・平成26年5月15日(木) 親子1組(浜田1組)

(2) 歯と口の健康週間における街頭啓発

- ・パネル展示(5/30～6/9)
- ・街頭キャンペーン(6/4)
- ・浜田市PTA連合会での啓発(6/22)

4) 歯科保健に関する統計データ

〔 1歳6か月歯科健診結果年次推移 〕 出典：島根の母子保健(母子保健集計システム)

①むし歯有病者率の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
浜田圏域	2.8	1.6	1.5	1.2	1.0	0.9	1.6	1.76	1.58	0.68	1.28	1.55	2.45
島根県	4.0	4.2	4.3	4.1	4.2	4.3	4.5	3.11	2.98	2.25	2.35	2.38	2.41

②一人平均むし歯本数の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
浜田圏域	0.06	0.04	0.03	0.05	0.03	0.03	0.04	0.05	0.04	0.02	0.04	0.04	0.08
島根県	0.11	0.13	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.08	0.08	0.06	0.07	0.06	0.06

〔 3歳児歯科健診結果年次推移 〕 出典：島根の母子保健(母子保健集計システム)

①むし歯有病者率の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
浜田圏域	27.9	27.9	26.8	24.1	20.1	21.0	14.9	14.7	14.7	13.0	13.7	11.3	17.8
島根県	35.8	33.5	32.5	29.7	27.4	27.3	25.9	26.5	23.3	22.3	22.1	20.1	21.2

②一人平均むし歯本数の年次推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
浜田圏域	0.97	0.98	0.98	0.74	0.58	0.70	0.47	0.46	0.39	0.39	0.41	0.27	0.52
島根県	1.56	1.56	1.37	1.09	1.03	1.04	0.94	0.93	0.81	0.77	0.72	0.64	0.73

〔フッ化物洗口実施施設一覧〕

出典：フッ化物洗口実施施設歯科健診調査

平成26年度

	施設名	施設区分	全児童数
浜田市	上府小学校	小学校	89
	有福小学校	小学校	14
	雲城小学校	小学校	143
	今福小学校	小学校	41
	波佐小学校	小学校	18
	今市小学校	小学校	114
	岡見小学校	小学校	58
	金城中学校	中学校	115
	旭 中学校	中学校	55

	施設名	施設区分	全児童数
江津市	郷田小学校	小学校	123
	江津東小学校	小学校	131
	桜江小学校	小学校	114
	江東中学校	中学校	57
	桜江中学校	中学校	70

〔永久歯のむし歯状況（フッ化物洗口実施施設）〕

出典：フッ化物洗口実施施設歯科健診調査

平成26年度

	一人平均むし歯数		有病者率	
	島根県	浜田圏域	島根県	浜田圏域
小学校1年	0.11	0.03	6.94	2.15
小学校2年	0.19	0.02	10.61	2.11
小学校3年	0.35	0.05	18.54	2.63
小学校4年	0.38	0.17	19.76	13.46
小学校5年	0.63	0.09	28.46	5.94
小学校6年	0.66	0.29	27.83	14.42
中学校1年生	1.06	0.46	41.29	27.08
中学校2年生	1.02	0.71	41.94	33.03
中学校3年生	1.12	0.71	42.52	32.61

〔学校歯科健診結果（12歳児）〕

出典：島根県市町村歯科保健対策評価表

一人平均むし歯本数の年次推移

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
浜田圏域	2.09	1.91	1.62	1.61	1.41	1.44	0.92	0.99	1.14	1.48	0.97	1.17	0.92	1.11
島根県	2.52	1.94	2.13	1.95	1.93	1.82	1.70	1.59	1.50	1.30	1.38	1.36	1.32	1.2

6 栄養改善対策

保健所における栄養改善対策は、地域の健康・栄養状態の把握・分析、住民への直接的な指導を行う市町村への支援、関係機関との広域的な調整等を行っている。また、健康増進法に基づく栄養表示基準や外食栄養成分表示制度等、住民が自分にとって望ましい「食」を選択できるような環境整備を推進している。

特定かつ多数人に食事を提供する施設の栄養管理については、栄養管理状況報告書の提出による状況把握及び個別巡回指導等を行っている。

「食育」の推進については、圏域で行われている様々な取組への支援を実施している。平成26年度は全県の啓発イベントとして「しまね食育まつり in江津」を開催した。

〔外食栄養成分表示店（健康づくり応援店）店舗数〕（H27.3.31現在）

店舗数(実数)	50	内訳	栄養成分表示店	17	※重複有り
			健康情報提供店	48	

〔栄養表示基準相談件数〕

	31条		32条の2		集団（研修会）
	指導（指摘等あり）	事前相談	指導（指摘等あり）	事前相談	
件数	0	4	1	4	

〔給食施設数〕

		栄養士（管理栄養士）がいる施設	栄養士（管理栄養士）がいない施設
特定給食施設	1回300食以上又は1日750食以上の施設	7	0
	1回100食以上又は1日250食以上の施設	32	1
その他の給食施設（1回50食以上）		25	11

〔給食施設指導状況〕

個別指導

	特定給食施設				その他の給食施設		合計
	指定施設		指定施設以外		病院	福祉施設	
	病院	福祉施設	病院	福祉施設・その他			
指導回数（施設数）	3		1	4	5	2	15

※〔その他の給食施設〕指導数には、1回50食未満の施設への指導も含む。

〔食育の推進〕

名称	開催日	参集者	内容
しまね食育まつり in江津	平成26年12月7日	一般住民250名	(1) ステージイベント プロから学ぶ楽しい食育体験型講座 ①味覚教室：山口哲生氏 ②あったかポタージュ作り：天野真氏 (2) 関係機関・団体によるブース展示、パネル展示 (3) 試食等体験コーナーの設置
食育検討会	平成26年7月3日 平成27年3月26日	栄養士会、食生活改善推進協議会、食品衛生協会、歯科医師会、歯科衛生士会等 11名	・地域における食育の普及啓発のために、食育活動にかかわる関係団体間の情報交換を実施。
食育推進研修・交流会	平成26年9月9日	食生活改善推進協議会会長及び支部長 6名	・情報交換等
その他			・浜田市食育推進ネットワーク会議、江津市食育推進会議への参画及び、食育啓発イベント「食育フェスタ in浜田」への協力 ・ボランティアとして地域の食育活動等に貢献した人に対し、保健所長感謝状を授与 ◆H26年度末 管内食生活改善推進員数：455名（浜田市355名 江津市100名）

7 地域保健体制の整備

地域においては、健康課題や地域の特性を踏まえた総合的な保健福祉活動の展開が必要である。
圏域においては、浜田圏域健康長寿しまね推進会議、各市においては、下記のとおり、協議の場を
設けて地域における保健対策を推進している。

〔市協議会等設置状況〕

市町村名	会 議 名	摘 要
浜 田 市	浜田市保健医療福祉協議会	①地域福祉専門部会 ②地域保健医療専門部会 ③高齢者保健福祉専門部会 ④障がい者福祉専門部会 ⑤子ども・子育て支援計画策定専門部会 ⑥食育推進ネットワーク会議
江 津 市	江津市保健福祉総合推進協議会	①健康づくり推進協議会（母子保健部会・職域保健部会） ②地域福祉推進協議会 ③高齢者福祉推進協議会 ④障害者保健福祉推進協議会 ⑤次世代育成支援推進協議会

〔地域保健専門職員研修会開催状況〕

開催日	参加者	内 容
平成26年 11月21日	参加者：20名 浜田市、江津市、保健所の保健師、管理栄養士、歯科衛生士等保健活動に従事する者	テーマ：『健康なまちづくり』の推進 【講演】「健康なまちづくりをめざして」 浜田保健所 所長 中本 稔 【活動紹介】 「益田市における住民主体の地域活動」 ～『健康ますだ市21』の取組み～ 益田市役所 課長補佐 山本ひとみ氏 管理栄養士 小玉千絵氏 【管内の健康づくり地区活動の取組】 浜田市、江津市 【グループワーク、まとめ】

〔人材育成連絡会等開催状況〕

開催日	参加者	内 容
平成26年 10月3日	参加者：9名 管内新任保健師、プリセプター、指導者	【情報交換】 「各所属における新任保健師指導計画と実施状況」 【意見交換】
平成27年 3月9日	参加者：11名 管内新任保健師、プリセプター、指導者等	【新任保健師による活動発表】 「1年間の業務を通して実践テーマを選定、活動のまとめを行い発表」 【意見交換】

〔人材の確保状況〕 (H26年4月1日現在) (正規職員のみ)

		浜田市	金城自治区	旭自治区	弥栄自治区	三隅自治区	江津市	保健所
保 健 師	保健関係	8	2	2	2	2	6	6
	福祉関係	4	0	0	0	0	5	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士		2	0	1	0	1	3	1
歯科衛生士		0	0	0	0	0	0	1

8 精神保健福祉対策

精神保健福祉対策は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者総合支援法、自殺対策基本法等に基づき、全てのライフステージにおける1次予防の心の健康づくりから、精神障がい者が地域社会で充実した生活を送ることを目指した3次予防までの対策を行っている。

浜田圏域の現状をみると、男性は働き盛り、女性は高齢者において自死者が多いため、自死予防を見越した心の健康づくりや早期発見・早期治療の強化、加えて精神科救急体制の整備による適切な医療の確保に向けた取組を推進している。

平成20年度からは、「治療中断予防システム」を構築することにより、病状悪化予防対策の推進を図っている。

平成23年11月～平成25年度にかけて、多職種による訪問支援を実施するアウトリーチ推進（国のモデル事業）を実施した。平成26年度はその結果から、当圏域における精神科受診が困難な精神障がい者に対する支援体制のあり方を検討した。

1) 心の健康づくり

地域住民が心の健康に関心を持ち、心の健康の保持増進ができるように、各関係機関が連携してライフサイクルに沿った普及啓発活動に努めている。

(1) 精神保健相談

- ①定期相談（所内相談12回＋巡回相談21回、計33回計画） 66 件
- ②随時相談 53 件
- ③訪問相談 56 件
- ④電話相談 382 件

(2) メンタルヘルス出張講座（事業所を対象に実施）

事業所を対象に、職場におけるメンタルヘルス対策の推進を目的に実施。

開催日	事業所名	参加者	内 容
5月28日	浜田コンピューターシステム	15名	・職場における心の健康づくり ・各種相談窓口の周知
6月18日	島根あさひ社会復帰促進センター	100名	・代表的な心の病気(統合失調症、うつ病、躁うつ病)についてそれぞれの原因や症状、治療法、関わり方等
6月24日	島根電工株式会社 西部支店	40名	・職場における心の健康づくり ・各種相談窓口の周知
7月22日	浜田市学校給食会	40名	
9月17日	グループホームみんなの家	18名	・認知症について
10月9日	島根あさひ社会復帰促進センター	130名	・職場における心の健康づくり ・各種相談窓口の周知
10月27日	ケーピー株式会社	17名	
10月29日	島根職業能力開発短期大学校	14名	

2) 自死防止対策

浜田圏域の自死者数は、平成24年度は24人で近年減少傾向にある。圏域別の年齢調整死亡率では、壮年期男性の自殺死亡率が他圏域に比べ高い状況にある。

(1) 浜田圏域自死防止対策連絡会

開催日	参加者	内 容
12月9日	10機関(10名) 浜田市医師会、江津市医師会、西川病院、浜田医療センター、浜田公共職業安定所、ヴィレッジせいわ、島根県弁護士会、浜田警察署、浜田市、江津市	・島根県及び浜田圏域における自死の現状について ・平成26年度各構成団体の自死対策における取組状況について

(2) 普及啓発活動

①世界自殺予防デー街頭キャンペーン (がん征圧月間街頭キャンペーンと同時開催)

開催日	参加者	内容
9月10日	32機関(58名) 浜田圏域健康長寿しまね推進会議、浜田圏域自死防止対策連絡会、メンタルヘルスボランティアのぞみの会、浜田圏域地域・職域連携推進協議会、がん検診啓発事業所、がん検診啓発サポーター、がん予防推進員、乳がん自己検診指導者	心の健康についての普及啓発のため、チラシ・グッズを計1000部配布。 グリーンモール、ゆめタウン浜田、キヌヤ金城店にて実施。

②浜田保健所、浜田合同庁舎の来客者へのポスターの掲示、パンフレット・啓発グッズの配布、置幟の設置。浜田合同庁舎内世界自殺予防デー啓発放送。

③各団体の自主的な取組の拡大(グッズやリーフレットなどを用いた啓発活動)

- ・啓発グッズ・リーフレット送付団体：13団体(啓発グッズ・リーフレットを約670部送付)
- ・啓発グッズ・リーフレット活用方法：職場内研修会、各所属に配置し来客者向けに啓発、独自にキャンペーンを実施し配布 等

④「ストレスチェック表」や「心の疲労度チェックノート」を要望のあった事業所や各種会議、出張講座にて配布

(3) 人材育成

①ゲートキーパー・スキルアップ研修指導者養成講習会受講者との意見交換会

開催日	参加者	内容
11月25日	ゲートキーパー・スキルアップ研修指導者養成講習会受講者7名中5名が参加。(さくらんぼのお家、浜田市、江津市、教育庁教育指導課こども安全支援室)	・心の病気や自死の現状 ・ゲートキーパーの役割

3) 精神科救急医療対策

精神疾患の発症、悪化により速やかな医療提供が必要な者に対して、迅速かつ適切な医療が確保できる体制づくりを目指している。近年は、身体、精神の双方の症状を併せ持つ患者が、適切でかつ速やかに医療提供が受けられるよう、関係機関の連携を図っている。

(1) 精神科救急医療体制整備圏域連絡調整会

開催日時	参加者	内容
2月27日	8機関（10名） 西川病院、浜田医療センター、浜田警察署、 浜田消防本部、江津邑智消防組合消防本部、 ヴィレッジせいわ、浜田市、江津市	<ul style="list-style-type: none"> 精神科救急医療体制整備事業実績報告 各機関における精神科医療体制整備に関する調査結果 今後の連携体制

(2) 措置入院・通報処理状況（平成26年度実績）

	申請通報件数		
	申請通報件数	措置件数	非該当
22条による申請	0	0	0
23条による通報	1	1	0
24条による通報	3	2	1
25条による通報	0	0	0
26条による通報	3	0	3
計	7	3	4

4) 社会復帰対策

精神障がい者が自立した日常生活を営むためには、医療機関だけではなく、地域における保健、福祉分野が包括的な支援体制を構築する必要がある。そのため、圏域における社会資源を効果的に活用できるよう、現状や課題の把握に努め、各関係機関の連携強化を図っている。

(1) 精神障がい者社会適応訓練事業

・実績なし

(2) 精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業

①精神障害者地域生活移行・地域定着支援圏域会議

・11月28日開催（精神保健福祉協議会と同時開催）

②自立支援ボランティア活用事業

※養成者・登録者：精神保健福祉従事経験者11名登録（平成27年3月末現在）

・活用状況：対象者1ケースに対して2名のボランティアが支援

・連絡会の開催

開催日時	参加者	内容
5月30日	10名参加 ボランティア、受託機関陽だまり、浜田市、 江津市	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度活動の報告 役割と位置づけについて 今後の活動体制について
8月27日	12名参加 ボランティア、受託機関陽だまり、浜田市、 江津市	<ul style="list-style-type: none"> 浜田圏域の活動のまとめ 今後の活動体制と支援課題について

③精神障がい者アウトリーチ推進事業（平成23年～25年度 国モデル事業）の
まとめと今後の方向性についての検討

精神障がい者アウトリーチ推進事業（平成23年～25年度国のモデル事業）をまとめ、自らの力では医療を受けることが困難な精神障がい者が、病状悪化を未然に防ぎ自分らしく地域で生活するために、医療、保健、福祉等の専門職チームどのような支援体制が必要なのかを検討した。

開催日時	参加機関	内容
6月3日 7月4日	浜田保健所	・3年間のまとめと評価
7月7日	障がい福祉課、浜田保健所	・27年度以降のアウトリーチ事業の進め方について
7月29日	こころクリニックせいわ、障がい福祉課、浜田保健所	・3年間のまとめと評価 ・27年度以降のアウトリーチ事業の進め方について

④こころの健康ボランティア養成講座

開催日	開催回数	参加者数（述べ）	内容
10月28日 11月6日 11月13、19日 11月26日	4回	50名 (第1～4回の参加者の合計)	<ul style="list-style-type: none"> ・心の病気について ・精神障がい者への支援について ・施設体験実習 ・ボランティア活動について

※修了証交付者は、6名

5) 地域精神保健医療福祉推進体制の整備

浜田圏域における自立支援医療受給者数（精神通院医療）および精神障害者保健福祉手帳所持者数は年々増加傾向にあり、さらなる精神科医療体制の整備が求められている。

圏域には入院医療機関が1機関（410床）、通院医療機関が4機関、加えて児童精神医療が提供できる機関は通院機関1か所あり、これらの医療機関を中心に、11カ所の相談支援事業所をはじめとした地域生活支援事業所、就労・職場復帰に関する機関、行政が連携をとりながら精神保健福祉体制を確立している。しかし、社会資源は浜田市中心部に集中し、郊外には少ないことから、引き続き保健・医療・福祉機関が連携し、精神保健福祉体制の現状や課題について検討し、更なる支援体制の構築を目指している。

(1) 浜田圏域精神保健福祉協議会

開催日時	参加機関	内容
12月4日	22機関（29名） 浜田市医師会、江津市医師会、西川病院、浜田医療センター、田中クリニック、こころクリニックせいわ、島田病院、高砂訪問看護ステーション、ヴィレッジせいわ、ぴゅあサポート、アクティブ工房、浜田圏域自立支援協議会事務局、江津市地域活動支援センターさくらんぼのお家、浜田市障害者生活支援センターレント、心の健康ボランティアのぞみの会、浜田公共職業安定所、浜田障害者就業・生活支援センターレント、浜田市社会福祉協議会、浜田市民生児童委員協議会、江津市民生児童委員協議会、自立支援ボランティア、松江保護観察所、浜田市、江津市	<ul style="list-style-type: none"> ・改正精神保健福祉法について ・長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策と今後の方向性について ・各機関の取組み状況と課題 ・浜田圏域治療中断予防システムの稼働状況と課題 ・アウトリーチ推進事業の成果と今後について

(2) 浜田圏域精神保健担当者連絡会

開催日時	参加機関	内容
7月16日	浜田市（高齢障がい課） 江津市（社会福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題 ・平成26年度事業計画 ・改正精神保健福祉法について ・治療中断予防システムについて

6) 子どもの心の診療ネットワーク事業

島根県では子どもの心の問題、児童虐待や発達障害児に対する支援体制を構築するために、県立こころの医療センターを中核として平成24年度から当事業を開始した。浜田圏域においては限られた社会資源の中で、関係機関が連携を図り、切れ目なく支援できる体制の構築、支援者の人材育成に向けた取組を目指している。また、様々な子どもの心の問題に対して、専門職に子どもの心の状態に応じた対応方法について、本人・家族または関係者が相談できる場として平成26年度より子どもの心の健康相談を開始した。

(1) 子どもの心の健康相談

回数：3回（7月25日、10月24日、2月6日）
スタッフ：県立こころの医療センター 臨床心理士2名、保健所 保健師
相談件数：7件（実件数 5件）

(2) 浜田圏域子どもの心の診療ネットワーク会議

開催日時	参加機関	内容
2月25日	11機関（22名） 西部島根医療福祉センター、西川病院、浜田市医師会、江津市医師会、浜田市教育委員会、江津市教育委員会、西部発達障害者支援センターウィンド、浜田市、江津市、浜田児童相談所	・浜田圏域の子どもの心に関する支援体制とその支援が必要な児の状況について ・各関係機関の取組み状況と課題 ・今後の取組みの方向性

(3) 人材育成

- ・事例検討会（11月28日）
＜参加者＞
学校教諭、教育委員会職員、教育支援センター職員、市役所職員
助言者：県立こころの医療センター（医師、臨床心理士、精神保健福祉士）
- ・医師中央派遣研修（10月19日）
地域の医療機関の専門性の向上を図ることを目的として、地域の医療機関の医師に対して、子どもの心の診療にかかる中央派遣研修を実施（圏域医師1名）
- ・「子どもの心を考える」かかりつけ医・学校医等研修会（1月18日） ※県障がい福祉課主催
＜参加者＞
かかりつけ医や学校医として子どもと関わる小児科医、内科医等の医師、医療・保健・福祉・教育関係者等

7)精神保健に関する統計

〔措置入院・通報処理状況〕 (平成26年度実績)

(単位：件)

	申請通報件数		
	措置件数	非該当	
22条による申請（一般人）	0	0	0
23条による通報（警察官）	1	1	0
24条による通報（検察官）	3	2	1
25条による通報（保護観察所）	0	0	0
26条による通報（矯正施設）	3	0	3
計	7	3	4

〔医療保護入院届出状況〕

(単位：件)

疾患名	年度				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
症状性を含む器質性精神障害（認知症 等）	118	139	115	106	101
精神作用物質使用による精神及び行動の障害（アルコール・薬物乱用 等）	3	2	7	4	5
統合失語症、統合失調症型障害及び妄想性障害	56	56	84	54	44
気分（感情）障害	14	15	27	18	17
その他	4	3	12	20	9
計	195	215	245	202	176

〔精神保健相談実施状況〕

(単位：件)

区分	年度				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
方法別	1,650	1,657	1,013	1,365	557
定期相談	37	42	32	23	66
随時相談	80	119	116	129	53
電話	1,417	1,393	809	1,121	382
訪問	116	103	56	92	56
内容別*	165	264	204	244	182
社会復帰	31	0	0	3	0
老人精神保健	8	26	7	9	21
アルコール	5	14	6	2	7
思春期保健	3	8	0	6	8
心の健康づくり	7	17	2	4	7
薬物	1	3	0	0	0
その他	110	196	189	218	139

※内容別：電話相談を除く

《医事・難病支援課》

1 医療対策

(1) 医療提供体制の整備

改正された島根県保健医療計画の期間は平成25年度から平成29年度までの5年間で、平成26年度は期間の2年目にあたる。浜田地域保健医療対策会議（全体会議）において、保健医療提供体制の確保について、今後の施策の方向性について検討した。

また、災害医療への対応や在宅医療の推進など、医療の提供体制の検討を行った。

(全体会議)

○浜田地域保健医療対策会議

平成26年7月28日	医療・介護の一体改革と地域医療提供体制、医療・介護連携について
------------	---------------------------------

(テーマ別の検討会議)

○医療・介護連携部会

平成26年7月28日	医療・介護連携部会の役割と今後の進め方 入退院時における病院と在宅サービス事業所間の情報共有に関する調査について
平成26年11月11日	地域医療構想と病床機能報告制度について 各病院における入退院状況調査の結果について 各病院の病床機能について
平成27年3月31日	地域医療構想(ビジョン)について 地域医療介護総合確保基金事業について

○緩和ケア検討会

平成27年3月20日	緩和ケア最新情報、がん相談支援センターの活動状況 他
------------	----------------------------

(2) 医師・看護師等確保対策

平成26年8月19-21日	平成26年度夏季地域医療実習(浜田市国民健康保険診療所連合体、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田保健所) (島根大学、自治医科大学から4名)
平成27年3月10-12日	平成26年度春季地域医療実習(浜田市国民健康保険診療所連合体、浜田医療センター、済生会江津総合病院、浜田保健所) (島根大学から5名)

(3) 適正な医療

医療機関を科学的で、かつ、適正な医療を行う場にふさわしいものとするを目的に、病院に対しては「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱」に基づき年1回、有床診療所及び人工透析機設置診療所に対しては「診療所立入検査実施要綱」に基づき3年に1回の立入検査を実施している。また、平成15年度からは無床診療所（歯科診療所を含む）に対しては「無床診療所（歯科診療所を含む）立入検査実施要綱」に基づき5年に1回の立入検査を実施している。

表1 平成26年度実施状況（件）

病院	有床診療所	人工透析機設置診療所	無床診療所	歯科診療所
9	5	1	18	5

(4) 医療法の手続き

医療機関の開設・廃止・変更などの申請、届出について対応している。

表2 医療機関の設置状況

(単位：箇所、床)

区分		年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
病院	施設数		10	10	9	9	9
	病床数		1484	1443	1431	1431	1431
診療所	一般	施設数	99	101	100	96	96
		病床数	168	189	173	161	145
	歯科施設数	0	40	38	37	37	
助産所施設数			1	2	2	2	1
施術所施設数			121	128	127	131	133

病床数は全ての病床種別を含む

(5) 医療安全相談窓口

医療に関する相談を受け、相談者への情報提供等実施した。これらの相談内容は県でまとめ、医療機関等へ情報を提供し医療の質の向上を図っている。

平成26年度 相談件数5件

2 難病対策

指定難病患者の医療費軽減を図るため、医療費の公費負担を行っている。

また、スモン患者に対する治療研究の助成や、先天性血液凝固因子障害等患者の医療負担の軽減を図るため、自己負担分について公費負担を行っている。

難病患者療養支援事業として、訪問相談・訪問指導・専門相談・患者家族教室・難病ボランティア学習会・難病療養支援従事者研修等を実施した。また今年度は、難病フォーラムを浜田圏域で開催した。

表3 難病相談、教室等の開催状況

区分		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
難病相談件数			14	12	9	11	11	7
交流教室等開催数			13	13	15	14	14	14

交流会 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症…3回、パーキンソン病…4回、膠原病…1回
炎症性腸疾患…3回、圏域難病サロン…3回

患者会活動への支援

- ・むつみ会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者家族の会）総会、学習会、交流会を開催
- ・たんぼぼの会（パーキンソン病患者家族の会）総会、役員会、学習会、交流会を開催
- ・はなみずきの会（炎症性腸疾患患者家族会）総会、学習会、食事学習会を開催
- ・膠原病の交流会を島根県支部患者会と協力し開催支援
- ・浜田圏域の難病サロンを、患者有志と難病ボランティアの協力によりH24年3月から開始。
平成26年度は、浜田圏域難病サロン「ほほえみサロン」として年3回開催。

表4 特定疾患医療受給者証の交付状況

(単位: 件)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
01ベーチェット病	5	6	4	4	4	6	6	6	8	11	9	9	7
02多発性硬化症	10	11	10	9	8	8	8	8	8	10	12	12	14
03重症筋無力症	17	18	18	20	18	21	25	25	26	26	26	26	25
04全身性エリテマトーデス	26	29	28	33	32	34	34	34	33	34	35	36	38
05スモン	5	6	6	6	6	3	3	3	3	2	2	3	3
06再生不良性貧血	9	13	13	14	15	12	11	9	9	9	9	10	9
07サルコイドーシス	14	14	11	11	11	10	11	12	13	13	13	16	15
08筋萎縮性側索硬化症	8	10	10	10	6	7	7	12	14	14	11	15	17
09強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	16	22	22	29	28	30	32	36	37	37	35	36	36
10特発性血小板減少性紫斑病	17	27	28	36	34	28	29	29	25	28	24	17	16
11結節性動脈周囲炎	2	2	3	4	2	2	2	1		2	2	4	5
12潰瘍性大腸炎	41	47	42	49	54	54	57	66	75	83	90	92	99
13大動脈炎症候群	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	5
14ビュルガー病	7	9	9	9	10	11	10	10	10	10	10	8	7
15天疱瘡	2	3	3	4	3	3	2	3	3	3	4	5	5
16脊髄小脳変性症	24	28	14	22	24	28	29	29	32	32	30	29	26
17クローン病	9	9	10	12	12	11	12	13	15	16	16	17	16
18難治性肝炎のうち劇症肝炎		1									0	0	
19悪性関節リウマチ	3	4	2	1	1	1	1				1	1	1
20パーキンソン病関連疾患	101	109	89	109	102	108	109	122	132	128	135	139	138
21アミロイドーシス	1	1	2	2	2	1	1	2	4	3	2	2	1
22後縦靭帯骨化症	11	14	15	13	13	16	15	13	17	21	22	19	18
23ハンチントン病								1	1		0	0	
24モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	4	4	4	4	3	5	5	4	5	4	6	6	8
25ウェゲナー肉芽腫症				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
26特発性拡張型(うっ血型)心筋症	9	9	11	16	10	11	10	11	10	11	11	10	11
27多系統萎縮症(シャイ・ドレーガー症候群等)	1	1	14	15	13	16	12	11	10	12	12	12	16
28表皮水疱症(接合部型、栄養障害型)				1							0	0	
29膿疱性乾癬	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	2
30広範脊柱管狭窄症	2	2	2	2	3	5	5	4	4	5	5	6	8
31原発性胆汁性肝硬変	2	3	4	5	5	8	9	9	13	19	22	29	32
32重症急性膵炎		6	3	1		1			1	4	1	0	1
33特発性大腿骨頭壊死症	15	15	12	14	14	15	12	14	16	21	19	18	17
34混合性結合組織病	8	7	9	11	14	13	11	11	12	13	12	15	14
35原発性免疫不全症候群			2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1
36特発性間質性肺炎					2	3	3	4	2	6	6	6	3
37網膜色素変性症	24	24	22	24	23	24	24	25	25	29	32	29	31
38プリオン病	1	3			1			1	1	1	1	0	1
39肺動脈性肺高血圧症	1	1	1	1							1	2	2
40神経線維腫症	1	2	2	1	1	2	2	3	3	4	4	6	4
41亜急性硬化性全脳炎											0	0	
42バッド・キアリ症候群						1					0	0	
43慢性血栓塞栓性肺高血圧症					1		1				0	1	1
44ライソゾーム病(ファブリー病を含む)											0	0	
45副腎白質ジストロフィー											0	0	
46家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)											0	0	
47脊髄性筋萎縮症											0	2	3
48球脊髄性筋萎縮症											0	0	
49慢性炎症性脱髄性多発神経炎										3	5	3	4
50肥大型心筋症											0	0	
51拘束型心筋症											0	0	
52ミトコンドリア病											0	0	
53リンパ脈管筋腫症(LAM)											1	1	1
54重症多形滲出性紅斑(急性期)											0	0	
55黄色靭帯骨化症										1	2	3	4
56間脳下垂体機能障害										14	17	19	20
計	401	465	431	501	482	506	506	539	575	636	652	670	686

表4 特定医療（指定難病）受給者証の交付状況

(単位：件)

新疾患名	旧疾患名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
001球脊髄性筋萎縮症	48球脊髄性筋萎縮症											0	0		1
002筋萎縮性側索硬化症	08筋萎縮性側索硬化症	8	10	10	10	6	7	7	12	14	14	11	15	17	17
003脊髄性筋萎縮症	47脊髄性筋萎縮症											0	2	3	3
004原発性側索硬化症															
005進行性核上性麻痺	20パーキンソン病関連疾患														5
006パーキンソン病	20パーキンソン病関連疾患	101	109	89	109	102	108	109	122	132	128	135	139	138	130
007大脳皮質基底核変性症	20パーキンソン病関連疾患														4
008ハンチントン病	23ハンチントン病								1	1		0	0		1
009神経有棘赤血球症															
010シャルコー・マリー・トゥース病															
011重症筋無力症	03重症筋無力症	17	18	18	20	18	21	25	25	26	26	26	26	25	25
012先天性筋無力症候群															
013多発性硬化症／視神経脊髄炎	02多発性硬化症	10	11	10	9	8	8	8	8	8	10	12	12	14	13
014慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣	49慢性炎症性脱髄性多発神経炎										3	5	3	4	4
015封入体筋炎															
016クロー・深瀬症候群															
017多系統萎縮症	27多系統萎縮症(シャイ・ドレーガー症候群)	1	1	14	15	13	16	12	11	10	12	12	12	16	15
018脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	16脊髄小脳変性症	24	28	14	22	24	28	29	29	32	32	30	29	26	26
019ライソゾーム病	44ライソゾーム病(ファブリー病を含む)											0	0		
020副腎白質ジストロフィー	45副腎白質ジストロフィー											0	0		
021ミトコンドリア病	52ミトコンドリア病											0	0		
022もやもや病	24モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	4	4	4	4	3	5	5	4	5	4	6	6	8	9
023プリオン病	38プリオン病	1	3			1			1	1	1	1	0	1	
024亜急性硬化性全脳炎	41亜急性硬化性全脳炎											0	0		
025進行性多巣性白質脳症															
026HTLV-1関連脊髄症															
027特発性基底核石灰化症															
028全身性アミロイドーシス	21アミロイドーシス	1	1	2	2	2	1	1	2	4	3	2	2	1	1
029ウルリッヒ病															
030遠位型ミオパチー															
031ベスレムミオパチー															
032自己食空胞性ミオパチー															
033シュワルツ・ヤンベル症候群															
034神経線維腫症	40神経線維腫症	1	2	2	1	1	2	2	3	3	4	4	6	4	4
035天疱瘡	15天疱瘡	2	3	3	4	3	3	2	3	3	3	4	5	5	5
036表皮水疱症	28表皮水疱症(接合部型、栄養障害型)				1							0	0		
037膿疱性乾癬(汎発型)	29膿疱性乾癬	1	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1	1	2	2
038スティーヴンス・ジョンソン症候群	54重症多形滲出性紅斑(急性期)														
039中毒性表皮壊死症												0	0		

表4 特定医療（指定難病）受給者証の交付状況

(単位：件)

新疾患名	旧疾患名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
040高安動脈炎	13大動脈炎症候群	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	5	5
041巨細胞性動脈炎															
042結節性多発動脈炎	11結節性動脈周囲炎	2	2	3	4	2	2	2	1		2	2	4	5	4
043顕微鏡的多発血管炎	11結節性動脈周囲炎														
044多発血管炎性肉芽腫症	25ウェゲナー肉芽腫症				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
045好酸球性多発血管炎性肉芽腫症															
046悪性関節リウマチ	19悪性関節リウマチ	3	4	2	1	1	1	1				1	1	1	2
047バーシャー病	14ビュルガー病	7	9	9	9	10	11	10	10	10	10	10	8	7	6
048原発性抗リン脂質抗体症候群															
049全身性エリテマトーデス	04全身性エリテマトーデス	26	29	28	33	32	34	34	34	33	34	35	36	38	35
050皮膚筋炎／多発性筋炎	09強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎														12
051全身性強皮症	09強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	16	22	22	29	28	30	32	36	37	37	35	36	36	26
052混合性結合組織病	34混合性結合組織病	8	7	9	11	14	13	11	11	12	13	12	15	14	13
053シェーグレン症候群															
054成人スチル病															
055再発性多発軟骨炎															
056ベーチェット病	01ベーチェット病	5	6	4	4	4	6	6	6	8	11	9	9	7	7
057特発性拡張型心筋症	26特発性拡張型(うっ血型)心筋症	9	9	11	16	10	11	10	11	10	11	11	10	11	13
058肥大大型心筋症	50肥大大型心筋症											0	0		
059拘束型心筋症	51拘束型心筋症											0	0		
060再生不良性貧血	06再生不良性貧血	9	13	13	14	15	12	11	9	9	9	9	10	9	10
061自己免疫性溶血性貧血															
062発作性夜間ヘモグロビン尿症															
063特発性血小板減少性紫斑病	10特発性血小板減少性紫斑病	17	27	28	36	34	28	29	29	25	28	24	17	16	19
064血栓性血小板減少性紫斑病															
065原発性免疫不全症候群	35原発性免疫不全症候群			2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
066IgA腎症															
067多発性嚢胞腎															
068黄色靱帯骨化症	55黄色靱帯骨化症										1	2	3	4	4
069後縦靱帯骨化症	22後縦靱帯骨化症	11	14	15	13	13	16	15	13	17	21	22	19	18	14
070広範脊柱管狭窄症	30広範脊柱管狭窄症	2	2	2	2	3	5	5	4	4	5	5	6	8	8
071特発性大腿骨頭壊死症	33特発性大腿骨頭壊死症	15	15	12	14	14	15	12	14	16	21	19	18	17	20
072下垂体性ADH分泌異常症	56間脳下垂体機能障害										14	17	19	20	
073下垂体性TSH分泌亢進症	56間脳下垂体機能障害														1
074下垂体性PRL分泌亢進症	56間脳下垂体機能障害														
075クッシング病	56間脳下垂体機能障害														
076下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	56間脳下垂体機能障害														1
077下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	56間脳下垂体機能障害														1
078下垂体前葉機能低下症	56間脳下垂体機能障害														17

表4 特定医療（指定難病）受給者証の交付状況

(単位：件)

新疾患名	旧疾患名	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
079家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	46家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)											0	0		
080甲状腺ホルモン不応症															
081先天性副腎皮質酵素欠損症															
082先天性副腎低形成症															
083アジソン病															
084サルコイドーシス	07サルコイドーシス	14	14	11	11	11	10	11	12	13	13	13	16	15	16
085特発性間質性肺炎	36特発性間質性肺炎					2	3	3	4	2	6	6	6	3	2
086肺動脈性肺高血圧症	39肺動脈性肺高血圧症	1	1	1	1							1	2	2	2
087肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	39肺動脈性肺高血圧症														
088慢性血栓性肺高血圧症	43慢性血栓性肺高血圧症					1		1				0	1	1	2
089リンパ管筋腫症	53リンパ管筋腫症(LAM)											1	1	1	1
090網膜色素変性症	37網膜色素変性症	24	24	22	24	23	24	24	25	25	29	32	29	31	30
091バッド・キアリ症候群	42バッド・キアリ症候群						1					0	0		
092特発性門脈圧亢進症															
093原発性胆汁性肝硬変	31原発性胆汁性肝硬変	2	3	4	5	5	8	9	9	13	19	22	29	32	34
094原発性硬化性胆管炎															
095自己免疫性肝炎															1
096クローン病	17クローン病	9	9	10	12	12	11	12	13	15	16	16	17	16	16
097潰瘍性大腸炎	12潰瘍性大腸炎	41	47	42	49	54	54	57	66	75	83	90	92	99	108
098好酸球性消化管疾患															
099慢性特発性偽性腸閉塞症															
100巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症															
101腸管神経節細胞僅少症															
102ルビンシュタイン・テイビ症候群															
103CFC症候群															
104コステロ症候群															
105チャージ症候群															
106クリオピリン関連周期熱症候群															
107全身型若年性特発性関節炎															
108TNF受容体関連周期性症候群															
109非典型溶血性尿毒症症候群															
110ブラウ症候群															
	05スモン	5	6	6	6	6	3	3	3	3	2	2	3	3	3
	18難治性肝炎のうち劇症肝炎		1									0	0		
	32重症急性膵炎		6	3	1		1			1	4	1	0	1	1
計		401	465	431	501	482	506	506	539	575	636	652	670	686	701

3 結核対策

(1) 結核講習会 (平成27年2月19日)

内容：

- ・ 浜田保健所管内の結核発生状況
- ・ 講演「結核の診断と治療及び院内感染対策について」
 独立行政法人国立病院機構 松江医療センター 副院長 矢野修一 先生
 会場：浜田医療センター（総合研修センター）、参加者57名

(2) 学校結核健診

新しく策定された「学校における結核対策マニュアル」に従い、平成25年度から地域の実情に応じた結核対策を実施することとなった。

今後は、学校医による結核精密検査の受診勧奨が可能となるため、結核対策委員会は必要時に開催することとなった。

(3) 啓発活動

結核予防週間期間に医療機関・高齢者施設、市役所に啓発パンフレットを配布し結核に関する理解を深めていただくようにした。

表5 年末の結核登録患者の推移

単位：人

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
活動性患者	11	9	12	9	12	17	15	14	12	9
感染性	7	7	7	3	4	7	5	5	7	1
非感染性	2	0	3	3	3	5	5	9	4	2
肺外結核	2	2	2	3	5	5	5	7	1	6
不活動性患者	31	30	33	35	28	25	30	20	25	26
潜在性結核感染症	0	0	2	3	5	5	18	28	26	18
不明者	0	1	1	1	5	2	2	5	4	0
合計	42	40	48	48	50	49	65	67	67	53

潜在性結核感染症は平成19年6月から無症状病原体保有者として届け出と登録が行われている。

表6 年齢別新規登録患者の状況（平成26年）

	5歳未満	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	計
喀痰塗沫陽性肺結核					1				1	1	3
その他活動性肺結核						1				2	3
肺外結核									1	5	6
合計	0	0	0	0	1	1	0	0	2	8	12

※潜在性結核感染症を除く

表7 定期健診等の実施状況（平成26年度）

		定期					定期外		計	
		事業者	学校長	施設の長	市町村又は特別区の区長			患者 家族		その他
					乳 児		その他			
					6か月 未満	1歳未満				
ツベ ルク リン 反応	被注射者数 被判定者数 陰性者数 陽性者数							0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
	間接撮影者数	2,745	836	445		4,573	0	0	8,599	
	直接撮影者数	2,488	290	238		0	16	41	3,073	
	かくたん検査者数	0	0	0		0	0	3	3	
	IGRA検査者数						3	21	24	
被 発 見 者 数	結核患者	0	0	0		0	0	0	0	
	潜在性結核感染症	0	0	0		0	0	0	0	
	結核発病のおそれがあると診断された者	1	0	0		4	0	1	6	

※施設の長：刑事施設を除く

※IGRA検査者欄を追加（H25年度から）

(4)DOTSの実施状況（平成26年）

結核患者の確実な治療の実施は結核対策の基本である。島根県では「島根県地域DOTS実施計画」に基づき、原則としてすべての結核患者に対して服薬確認、服薬サポートを実施している。26年度もこの方針に則って、入院患者以外の抗結核薬服用患者に対してもDOTSを実施した。

- ・DOTS訪問等の内訳（H26年新規結核患者12名 LTBI 2名）
 - ①週単位の訪問DOTS（訪問週1回以上） 0例
 - ②月単位の訪問（訪問月1～2回）DOTS 3例
 - ③訪問+電話確認（2か月に1回程度の訪問と電話確認） 6例
 - ④電話確認のみ 2例
- ・入院中 0例 ・死亡 2例 ・転出 1例

4 エイズ対策

エイズ予防対策の推進としては、①正しい知識の普及啓発、及び②無料検査による早期発見があげられる。平成26年度は、6月の検査普及週間に夜間・休日検査、7月は浜田駅前でパンフレット配布、12月の世界エイズデーには県立大学でパネル展示やパンフレットの配布、夜間休日検査を行った。また、エイズ出張講座により小中高生への正しい知識の普及に取り組んだ。

表8 エイズ相談、検査の状況

区分 \ 年度	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
相談件数	26	38	34	37	46
検査件数	27	37	34	33	45

エイズ予防対策の推進としては、①正しい知識の普及啓発、及び②無料検査による早期発見があげられる。26年度は、世界エイズデーキャンペーンとして県立大学でパネル展示やパンフレットの配布を行った。また、エイズ出張講座により小中高生への正しい知識の普及に取り組んだ。

表9 エイズ出張講座の開催状況

種別	回数	人数
高等学校	1	92
中学校	9	487
小学校	1	28
計	11	607

- ・ 性感染症・エイズの正しい知識、感染予防について
小学生：「自分を大切に 友達を大切に」
中高生：「自分を生きる 心を生きる」
- ・ 実施時期 平成26年7月～平成27年2月

5 原爆被爆者対策

「原爆被爆者に対する援護に関する法律」に基づく健康診断の実施と、各種手当の申請手続の処理を行うとともに、浜田圏域の被爆者協議会へ情報提供を行った。

表10 管内被爆者数（平成27年3月31日現在）

	男	女	合計
浜田市	35	139	174
江津市	11	55	66
管内	46	194	240

表11 各種手当の支給状況

	保健手当		健康管理手当	介護手当	葬祭料	医療特別手当
	高額	一般				
支給件数	1	2	228	0	18	2

表12-1 被爆者健康診断の実施状況
定期健康診断(件数)

	前期	後期
一般健診	155	127
肝機能	149	115

表12-2 がん検診（件数）

胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
23	32	23	13	30	29

6 緩和ケア

26年度は、在宅医療資源調査を実施し、分析・集計を行い、当所ホームページ上に公開した。緩和ケア検討会を実施した。

7 骨髄バンク

26年度は、骨髄バンク推進月間である10月に骨髄バンク普及啓発ボランティアらいらっくの会とともに駅北フェスタに参加し、普及啓発を行った。

表13 骨髄提供希望者登録数の推移

(単位：人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
骨髄提供登録者数	7	8	14	6	0	11	2	2

8 肝炎対策

(1) 肝炎治療費助成事業

国内最大級の感染症であるB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎は、抗ウイルス治療により、その後の肝硬変、肝がんとした重篤な病態を防ぐことができる。しかし、この抗ウイルス治療が高額であることから、早期治療の促進のため抗ウイルス治療にかかる医療費の助成を平成20年度から行っている。

表 肝炎治療費助成申請

区分 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新規申請（C型肝炎）			59	40	44	56	66
新規申請（B型肝炎）			56	8	10	15	13
更新申請（B型肝炎）				50	51	65	71
計	106	54	115	98	105	136	150

(2) 肝炎ウイルス検査

毎月、第2、4火曜日にH I V抗体検査と同日に受付をし実施している。

平成26年7月の肝臓週間には、浜田駅前の夏祭りにおいてパンフレット等を配布し検査の普及を行った。

表 肝炎ウイルス検査件数、相談件数

区分 \ 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
相談件数	5	1	8	23
検査件数	3	9	5	16

(3) 肝がん等重症化予防事業

肝炎ウイルス検査において発見されたウイルス陽性者を早期治療につなげ重症化を予防するため、26年度から初回精密検査費用助成事業及び肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業が開始された。

① 初回精密検査費用助成

陽性者が、指定の医療機関で初回精密検査を受けた際の医療費の自己負担額を助成
申請件数0件

② 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

フォローアップをすることの同意が得られた陽性者に対し、医療機関の受診状況等を確認。未受診の場合受診勧奨をする。

申請件数0件

①②の実施に向けて、管内の市担当者と担当者会を実施

《衛生指導課》《食品衛生機動監視課》

1 薬事対策（衛生指導課）

(1) 薬事監視指導の実施

医薬品の適正管理や情報提供等に対する薬剤師や登録販売者の果たす役割の重要性が高まっている。このことから、薬局及び医薬品販売業において薬剤師等による実地の管理状況の把握を重点に監視指導を実施した。また、毒薬等の適正な保管管理等の徹底について指導した

表1 薬事関係施設の設置、監視指導状況（平成27年3月31日現在）

区 分	営業 施設数	新規 許可 施設数	廃止 届出 施設数	立入 検査 施設数	違反 発見 施設数	監視率 (%)
薬 局	53	2	3	41	0	77.4
医薬品販売業	38	3	3	8	0	21.1
卸 売	10	0	0	3	0	30.0
薬種商	1	0	0	0	0	0.0
店舗販売業	22	3	3	5	0	22.7
特 例	0	0	0	0	0	0.0
配 置	5	0	0	0	0	0.0
高度管理医療機器等販売・賃貸業	65	8	3	15	0	23.1
管理医療機器販売・賃貸業	169	9	1	0	0	0.0
計	325	22	10	64	0	19.7

(単位：箇所)

(2) 医薬分業の推進

処方せん受け取り率（国民健康保険分）は、県全体、浜田圏域において平成25年度にかけて順調に増加した。

表2 処方せん受け取り率の推移（平成21年度～平成25年度）

医療圏	年度				
	H21	H22	H23	H24	H25
浜田（浜田市・江津市）	59.6	61.5	64.6	65.7	68.5
松江（松江市・安来市）	49.2	51.6	54.8	58.0	58.9
雲南（雲南市・奥出雲町・飯南町）	51.6	56.8	60.8	62.6	64.7
出雲（出雲市）	60.3	64.2	66.4	68.6	71.7
大田（大田市・川本町・美郷町・邑南町）	46.6	50.8	55.6	59.0	61.1
益田（益田市・吉賀町・津和野町）	78.2	79.6	81.3	83.6	85.8
隠岐（海士町・西ノ島町・知夫村・隠岐の島町）	51.9	54.4	56.8	57.0	58.4
県 全 体	56.4	59.4	62.4	64.7	66.7

(単位：%)

(3) 毒物・劇物監視の実施

農薬危害防止月間（6月1日～8月31日）を中心に、各登録施設に対し毒物・劇物の譲渡手続き、保管管理状況等について重点的に監視を行った。

表3 毒物劇物関係施設の設置、監視指導状況 (平成27年3月31日現在)

業態	営業施設数	新規許可施設数	廃止届出施設数	立入検査施設数	違反発見施設数	監視率(%)
一般販売業	54	3	5	20	0	37.0
農薬用品目販売業	19	8	3	9	0	47.4
特定品目販売業	2	0	0	0	0	0.0
計	75	11	8	29	0	38.7

(単位：箇所)

2 薬物乱用防止対策 (衛生指導課)

「麻薬・覚せい剤乱用防止運動(10月～11月)」期間を中心に麻薬取扱い施設へ立ち入りし、麻薬の保管管理、帳簿等の記録について指導を実施した。

また、「6.26 ヤング街頭キャンペーン」を実施し、薬物の乱用防止を呼びかけるとともに、小学校2校からの依頼に基づき、薬物乱用教室を実施した。

表4 麻薬取扱い施設の設置、監視指導状況 (平成27年3月31日現在)

業態	取扱施設数	立入検査施設数	違反発見施設数	監視率(%)
麻薬診療施設	52	26	0	50.0
病院	9	9	0	100.0
一般診療所	39	16	0	41.0
歯科診療所	0	0	0	0.0
飼育動物診療施設	4	1	0	25.0
麻薬卸売業者	3	2	0	66.7
麻薬研究者	1	1	0	100.0
計	109	59	0	54.1

(単位：箇所)

3 献血の推進 (衛生指導課)

平成27年度の管内の献血目標は、400ml献血で1,968人であったが、実績は1,923人(97.7%)であった。

表5 献血状況 (平成27年3月31日現在)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
200ml献血	—	—	—	—	—	—
400ml献血	1,746	1,783	1,620	1,611	1,866	1,923
成分献血	—	—	—	—	—	—
計	1,746	1,783	1,620	1,611	1,866	1,923

(単位：人)

4 食品衛生対策 (衛生指導課)(食品衛生機動監視課)

(1) 食品衛生監視指導の状況

県の監視指導計画に基づき、計画的・効率的な監視指導を実施した。また、管内においてカンピロバクターによる食中毒が発生したため、飲食店等に対し、食肉からの二次汚染防止や食品の十分な加熱等について重点的に指導を実施した。さらに、県内外において異物混入事案の報告が相次いだため、給食施設及び飲食店等に対して異物混入防止を念頭においた監視指導を実施した。

表 6 - 1 食品営業施設に対する指導実績（許可施設；平成 27 年 3 月 31 日現在）

		施設数	監視指導回数	行政処分
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	579	212	1
	仕出し屋・弁当屋	123	97	
	旅館	54	41	
	その他	98	27	
菓子製造業		113	56	
乳処理業		1	2	
特別牛乳さく取処理業			0	
乳製品製造業		1	1	
集乳業			0	
魚介類販売業		181	147	
魚介類せり売営業		3	2	
魚肉ねり製品製造業		8	14	1
食品の冷凍又は冷蔵業		11	3	
かん詰又はびん詰食品製造業		2	0	
喫茶店営業		160	70	
あん類製造業		1	0	
アイスクリーム類製造業		16	9	
乳類販売業		200	123	
食肉処理業		10	3	
食肉販売業		157	121	
食肉製品製造業		1	3	
乳酸菌飲料製造業			0	
食用油脂製造業		1	0	
マーガリン又はショートニング製造業			0	
みそ製造業		13	9	
醤油製造業		7	2	
ソース類製造業		6	2	
酒類製造業		5	1	
豆腐製造業		9	6	
納豆製造業			0	
めん類製造業		5	0	
そうざい製造業		64	42	
添加物製造業		2	1	
食品の放射線照射業			0	
清涼飲料水製造業		10	11	
氷雪製造業		6	1	
氷雪販売業				
計		1,847	1,006	

(単位：件)

表6-2 食品営業施設に対する指導実績（許可不要施設；平成27年3月31日現在）

		施設数	監視指導回数	行政処分
給食施設	学 校	14	13	0
	病院・診療所	10	10	0
	事 業 所	8	0	0
	そ の 他	95	72	0
乳さく取業		6	0	0
食品製造業		141	8	0
野菜・果実販売業		167	115	0
そうざい販売業		191	114	0
菓子（パンを含む）販売業		192	128	0
食品販売業（上記以外）		397	160	0
添加物の製造業		0	0	0
添加物の販売業		34	26	0
氷雪採取業		0	0	0
器具・容器包装・おもちゃ製造又は販売業		23	4	0
計		1,278	650	0

（単位：件）

（2）食中毒の発生状況

平成22年度から平成26年度にかけて、毎年度1～4件の食中毒の発生があった。平成26年6月にカンピロバクターを病因物質とした食中毒が発生した。原因施設は平成25年11月に発生した食中毒の原因施設と同一であった。

表7 食中毒の発生状況（平成22年度～平成26年度）

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
発 生 件 数		1	4	1	2	1
患 者 数		26	434	33	16	5
内 訳	サルモネラ	0	0	0	9	0
	ノロウイルス	26	434	33	0	0
	カンピロバクター	0	0	0	7	5
原 因 施 設 数		1	3	1	2	1

（単位：件）

（3）食品検査の状況

食品衛生法に基づく規格基準違反の発見や不良食品の排除など、食品の安全性を確保するため、管内で製造される食品を中心に収去検査を実施した。その結果、魚肉ねり製品の添加物使用基準違反が判明した。また、各種衛生規範に基づく指導に資するための収去を行い、安全性の向上を図った。

表 8-1 食品等収去検査の実施状況（乳及び乳製品以外の食品、添加物、おもちゃ；平成 27 年 3 月 31 日現在）

		収去検体数	不良検体数	不良理由
魚介類		1	0	
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	0	0	
	冷凍直前に加熱された加熱後摂取冷凍品	0	0	
	冷凍直前未加熱の加熱後摂取冷凍品	0	0	
	生食用冷凍鮮魚介類	0	0	
魚介類加工品（缶詰、瓶詰を除く）		27	1	添加物使用基準
肉卵類及びその加工品		13	0	
乳製品		0	0	
乳類加工品（アイスクリーム、マーガリン類を除く）		0	0	
アイスクリーム類・氷菓		2	0	
穀類及びその加工品		4	0	
野菜類・果物及びその加工品		46	0	
菓子類		9	0	
清涼飲料水		0	0	
酒精飲料		0	0	
冰雪		0	0	
水		0	0	
缶詰・瓶詰食品		0	0	
その他食品		4	0	
添加物	化学的合成品及びその製剤	0	0	
	その他の添加物	0	0	
器具及び容器包装		0	0	
おもちゃ		0	0	
計		106	1	

（単位：件）

表 8-2 乳及び乳製品（乳及び乳製品の成分規格の定めのある事項に関する検査；平成 27 年 3 月 31 日現在）

		収去検体数	不良検体数	不良理由
生乳		0	0	
牛乳		1	0	
部分脱脂乳		0	0	
加工乳	乳脂肪分 3%以上	0	0	
	乳脂肪分 3%以下	0	0	
その他の乳		0	0	
計		1	0	

（単位：件）

(4) 普及啓発活動の推進

講習会の開催を通じて食品衛生への関心を高めた。具体的には、営業者に対して食中毒予防の啓発、食品表示の適正化、食品衛生に関する最近の話題等を内容にして開催した。また、食品衛生月間事業（8月）として、幼稚園児に対する手洗い指導を行った。

食品衛生推進員事業では、旅館、弁当調製施設等に対する食中毒発生防止のための点検及び食品表示の適正化を目的とした食品販売店の点検を実施した。

表9 食品衛生講習会開催状況（平成27年3月31日現在）

対象者	開催回数	参加者数
食品営業者	42	849
上記以外の者	9	1,080

（単位：回、人）

表10 食品衛生推進員による点検状況（平成27年3月31日現在）

実施期間	対象業種	主な点検・助言内容	対象施設数
7月～12月	飲食店営業（一般食堂・旅館・仕出し屋・弁当屋）	施設の衛生管理	158
	農産加工品製造業・食品販売業	食品の表示	169

（単位：箇所）

5 感染症対策（衛生指導課）

感染症発生時には、まん延防止を図るため迅速な患者の把握、原因究明等の疫学調査を行い、適切な医療が図られるように努めた。また、管内の社会福祉施設等からの相談事例について、個別に助言や指導するなどまん延・再発防止対策の強化を支援した。

表11 感染症（全数把握疾患）の発生状況（平成27年3月31日現在）

年度	一類	二類	三類	四類	五類
22	なし	結核（23）	腸管出血性大腸菌感染症（3）	レジオネラ症（1）	クロイツフェルト・ヤコブ病（1）
23	なし	結核（36）	なし	なし	アメーバ赤痢（1）
24	なし	結核（14）	腸管出血性大腸菌感染症（1）	なし	なし
25	なし	結核（18）	なし	A型肝炎（1）、重症熱性血小板減少症候群（1）、レジオネラ症（1）	アメーバ赤痢（2）、破傷風（1）、クロイツフェルト・ヤコブ病（1）、後天性免疫不全症候群（1）
26	なし	結核（15）	なし	A型肝炎（3）、レジオネラ症（1）、ウイルス性肝炎（1）	梅毒（1）

（ ）の数字は発生件数

6 動物管理対策（衛生指導課）

近年、登録頭数の減少傾向が強まっている。また、登録数に係る狂犬病予防注射接種率（狂犬病予防注射頭数/登録頭数）は横ばいが続いている。

所有者不明犬の引取りや犬捕獲は増加傾向があったが、平成 25 年度に大幅に減少し、平成 26 年度もさらに少なくなった。また、飼い主からの犬の引取りについても減ってきている。猫については、所有者不明の引き取りが少し増加したが、飼い主からの引き取りは減少した。

収容した動物の積極的な譲渡などに取り組んだことにより、犬の殺処分数は過去最低を記録した昨年度からさらに減少した。

表 12 狂犬病予防・動物愛護管理業務の状況

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
新規登録件数		401	423	349	267	247	
登録頭数		5,589	5,415	5,166	4,977	4,767	
狂犬病予防注射実施頭数		4,676	4,533	4,237	4,099	4,037	
犬死亡届出件数		473	566	584	435	440	
収容頭数	犬	捕獲	39	40	53	28	22
		所有者不明	22	24	29	18	31
		所有者からの引取	35	78	36	16	9
		負傷収容	0	1	2	1	1
	猫	所有者不明	85	49	152	55	59
		所有者からの引取	46	56	54	92	81
		負傷収容	15	13	24	17	13
返還	犬	22	20	28	24	24	
	猫	—	—	—	—	1	
譲渡	犬	21	35	66	24	20	
	猫	6	17	10	23	12	
処分 移送・	犬	54	85	27	17	14	
	猫	144	97	221	139	140	
咬傷被害件数		2	12	7	9	7	
	登録犬	2	11	6	9	6	
	飼犬(未登録)	0	0	0	0	1	
	その他	0	1	1	0	0	
苦情処理等件数		104	117	155	145	162	
犬のしつけ方、愛護教室開催		2	2	2	3	0	

(単位：件、頭、回)

表 13 動物取扱業者の登録状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	販売	保管	貸出	訓練	展示	延べ施設数（実施施設数）
施設数	8	10	0	1	3	22 (18)

(単位：件)

7 環境衛生対策（衛生指導課）

(1) 環境衛生営業関係施設の衛生確保

施設数については、前年度から大幅な変動はなかった。

平成 26 年度は公衆浴場 1 施設の浴槽水からレジオネラ属菌が検出されたことを受け、管内の各公衆浴場の立ち入り調査を実施した。その際、旅館業の許可のある施設については、旅館の立ち入りも実施した。

表 14 環境衛生営業施設の設置、監視指導状況

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
旅館	124	122	117	108	110
監視指導施設数	20	7	23	26	38
興業場	7	7	7	7	7
監視指導施設数	1	0	4	2	1
公衆浴場	35	34	33	29	32
監視指導施設数	5	8	30	6	43
理容所	141	139	137	136	134
監視指導施設数	0	1	1	2	6
美容所	206	207	209	213	213
監視指導施設数	4	0	12	7	1
クリーニング所	125	125	126	96	91
監視指導施設数	1	0	26	1	7
計	638	634	629	589	587

(単位：箇所)

(2) 水道施設の衛生確保

水道水の安全確保を図るため、施設や水質管理が適正に維持管理されるよう助言、指導を行うとともに、水道水質の異常、飲料水による健康被害等の発生時における危機管理体制の整備に努めた。

表 15 水道施設の立入状況（平成 27 年 3 月 31 日現在）

事業区分	浜田市			江津市		
	事業数	立入件数	水質検査異常報告件数	事業数	立入件数	水質検査異常報告件数
上水道	1	1	0	1	1	0
簡易水道	8	8	0	3	3	0
その他	0	0	0	4	4	0
計	9	9	0	8	8	0

(単位：件)

(3) 温泉施設等の衛生確保

近年、施設数に大きな変動はない。

平成 26 年度は公衆浴場 1 施設（温泉利用施設）からレジオネラ属菌が検出されたことを受け、管内の各公衆浴場の立ち入り調査を実施した。

表 16 泉源・温泉利用施設の設置、指導状況

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
泉 源	42	41	42	41	42
温泉利用施設	50	41	39	39	39
立入検査回数	9	9	29	29	43

(単位：件)

表 17 プールの設置、指導状況

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
プ ー ル	民 営	3	3	3	3	3
	立入検査回 数	0	0	0	0	0
	公 営	3	3	3	3	3
	立入検査回 数	0	0	0	0	0
計		13	13	13	13	13

(単位：件)

《環境保全課》

1 大気汚染防止対策

中国電力三隅火力発電所周辺における住民の健康保護と生活環境及び自然環境の保護のため、県、浜田市（旧三隅町）及び事業者の三者で「環境保全に関する協定書」を交わしている。

県は平成 10 年 6 月に設置した「三隅発電所周辺環境対策連絡協議会」において、中国電力が行った周辺環境調査結果を評価・公表し、浜田市を通じて地域住民への周知を図っている。当保健所はその協議会の事務局として各種調整を行った。また、県が行う三隅発電所周辺環境調査のサンプリングを、浜田合庁、浜田市三隅支所において 2 回行った。

県では「島根県大気汚染常時監視テレメータシステム」により、一般環境大気測定局と自動車排ガス測定局等を設置し、大気環境の状況把握を行っており、当保健所管内では、一般環境大気測定局（2 地点）において常時監視を行っている。なお、浜田自動車排ガス測定局については平成 25 年 3 月末で測定を終了した。

常時監視の結果、光化学オキシダントについては春季に濃度上昇が見られたが、「県大気汚染緊急時対策要綱」に規定する注意報及び警報の発令には至らなかった。また、微小粒子状物質（PM2.5）については、国が示した「注意喚起のための暫定的な指針」に基づき「島根県微小粒子状物質（PM2.5）に係る注意喚起実施要領」を定めて濃度上昇時の対応を行ったが、注意喚起の実施には至らなかった。

微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析を行うためのサンプリングを、浜田合庁において 4 回行った。

フッ素による大気汚染状況の把握のために、江津市 3 地点で毎月 1 回の調査を行った。

大気汚染防止法で規定される、平成 26 年度末のばい煙発生施設、粉じん発生施設の設置状況は、施設数として平成 25 年度末からばい煙発生施設は 1 施設減少し、粉じん発生施設は 4 施設増加した。

アスベスト（石綿）による健康被害の顕在化、社会問題化により、平成 18 年 2 月に大気汚染防止法等が改正され、全ての石綿除去作業が届出義務化された。特定粉じん（アスベスト）排出等作業実施の届出は 7 件あり適切に監視指導を行った。

表1 大気汚染の監視状況

区分	測定地点	測定項目及び測定方法	回数
一般環境大気 測定局	浜田合庁(1地点) 江津市役所(1地点)	二酸化硫黄(紫外線蛍光法) 窒素酸化物(化学発光法) オキシダント(紫外線吸光法) 浮遊粒子状物質(ベータ線吸収法) 微小粒子状物質[PM2.5](ベータ線吸収法) 風向・風速、温度・湿度 【保守管理は外部委託】	自動監視
微小粒子状物質(PM2.5) 成分分析調査	浜田合庁(1地点)	イオン成分(イオンクロマトグラフ法) 無機元素成分(ICP-MS法) 炭素成分(TOR法)	年4回
大気汚染有害物質環境監視	江津市(3地点) ・県立江津高校 ・旧丸八裏 ・ポリテクカレッジ 島根	フッ素化合物(LTP法)	月1回
三隅発電所 周辺環境調査	浜田合庁(1地点) 浜田市三隅支所 (1地点)	浮遊粉じん 重金属類9物質(HVA法) 水銀(金アマルガム捕集法)	年2回 ・暖房期 ・非暖房期
酸性雨環境 影響調査 (降水監視調査)	江津市役所(1地点)	酸性雨自動採取装置による降水の採取 ・分析(保健環境科学研究所)	月2回

表2 ばい煙発生施設等の届出状況

(平成26年度末)

	施設数	事業場数	主な施設
ばい煙発生施設数	163	90	ボイラー、焼成炉、焼却炉
粉じん発生施設数	140	23	堆積場、破碎機、ベルトコンベア
県条例ばい煙特定施設	21	9	焼結炉、焼成炉

2 水質保全対策

水質環境基準監視を浜田川の4地点（三宮橋、清水橋、亀山橋、河口）で毎月行った。

海水浴場の遊泳適否調査を、波子、国府、田の浦、石見海浜公園、黒松の各海水浴場で2地点、浅利、折居海水浴場では1地点で行ったが、結果はいずれもAランク以上であり遊泳に適していた。

地下水は、浜田市の1地点で井戸水の調査を実施したが、結果は地下水環境基準値を満たしていた。また、今年度から測定項目としてPCBを追加した。

ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査を浜田ゴルフリンクスで実施した。

「水質汚濁防止法」及び島根県公害防止条例に規定する平成26年度末の特定事業場数は、平成25年度末から3施設減少した。

工場・事業場の排水対策については、水質汚濁防止法の規制対象事業場を中心とした立入検査等により、規制基準の遵守及び処理施設の適正な管理や届出に関する指導を行った。

車両からの油流出等の水質事故が8件発生した。

表3 公用水域の水質環境基準等監視調査

水域名		指定類型	調査地点名	調査項目	調査回数
浜田川	上流	河川A A	三宮橋	生活環境項目, その他項目	12回
	下流	河川A	清水橋		12回
			亀山橋		12回
				健康項目	2回: 6, 12月
	河口		生活環境項目, その他項目	12回	
江の川河口海域 ※	海域A	G-1,G-2,G-3 (表-深層)	生活環境項目, その他項目, 油分	6回	
			健康項目(G-1)	2回: 6, 12月	
浜田川河口海域 ※	海域A	H-1,H-2,H-3 (表-深層)	生活環境項目, その他項目, 油分	6回	
			健康項目(H-1)	2回: 6, 12月	
波子・国分・田の 浦海水浴場 ※	海域A	各2地点	生活環境項目, その他項目, 油分	6回	
			健康項目(IW-1,IW-3,IW-5)	2回: 6, 12月	

※河口海域・海水浴場海域の水質環境基準監視調査の採水、分析は外部委託

表4 海水浴場遊泳適否調査

区分	海水浴場名	地点数	調査時期・実施期間	調査回数	調査・分析項目
主要	波子(江津市)	2	遊泳期間前 (4月中旬～5月下旬)	2期間	気温,水温,波高,色相,臭気,透明度,油膜,pH,EC,COD,ふん便性大腸菌群数,病原性大腸菌O-157 (遊泳期間中1回のみ)
	国府(浜田市)	2		1期間2日	
	田の浦(浜田市)	2	遊泳期間中 (7月中旬～8月初旬)	1日2回(AM・PM)	
	石見海浜公園(浜田市)	2			
その他	黒松(江津市)	1	遊泳期間前 (4月中旬～5月下旬)	1期間	気温,水温,波高,色相,臭気,透明度,油膜,pH,EC,COD,ふん便性大腸菌群数
	浅利(江津市)	1		1期間2日	
	折居(浜田市)	1		1日2回(AM・PM)	

表5 管内の水質汚濁防止法に基づく特定施設数 (平成26年度末)

	浜田市	江津市	計
届出特定施設数	425	151	576
法排水基準対象施設数	(43)	(13)	(56)
特定施設立入検査数	33	10	43

3 土壌汚染対策

土壌汚染対策法(平成15年2月施行)の各種届出該当の事業場等に対し、法の適切な運用が行われるよう必要に応じて指導等を実施した。

4 ダイオキシン類対策

浜田合庁及び江津市の大気測定局の2地点で、大気中のダイオキシン類測定を4回行ったが、いずれも環境基準を満足していた。

ダイオキシン類特別措置法に基づく平成26年度末の特定施設設置数は、大気基準適用施設が平成25年度末から1施設減少し、水質基準適用施設は平成25年度末と同じであった。

特定施設に対しては3施設の立入検査を行い、1施設でダイオキシン類測定を行った。

表6 管内のダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設数(平成26年度末)

	届出施設数	届出事業者数	立入検査数
大気基準適用施設	14	13	3
水質基準適用施設	2	2	0
計	16	15	3

5 廃棄物処理対策一般廃棄物関係

「廃棄物処理法」に規定する一般廃棄物処理施設は、平成26年度に浜田市三隅町最終処分場が廃止されたため16施設となった。このうち、5施設に立入検査を行い、排水基準や水処理に関する指導等を2件行った。

ごみの減量化・資源化及び再生利用に努めている、エコショップ及びゴールドエコショップ（エコショップ優良店）の認定店は、平成26年度末で24店舗あり増減はなかった。

平成26年度についても管内の海岸に強酸性等の液体が入ったドラム缶やポリタンク等が漂着したため、関係機関と連携をとって、状況把握及び内容物の検査等支援を行い、4検体の分析を県保健環境科学研究所へ依頼した。

表7 管内の一般廃棄物処理施設数（平成26年度末）

し尿処理施設	2
コミュニティプラント	3
焼却施設	2
最終処分場	3
中間処理施設	4
不燃物処理施設	2
計	16

6 廃棄物処理対策産業廃棄物関係

「廃棄物処理法」に規定する平成26年度末の産業廃棄物処理業者は141業者であり、平成25年度末より5業者減となった。このうち、12業者に立入検査を行い、保管基準、処分基準等に関する指導を9件行った。

産業廃棄物処理施設は22施設あり、平成25年度末より破碎施設が1減となった。このうち、8施設に立入検査を行い、1施設に対して指導を行った。またミニ処分場が平成25年度末で2施設ある。

排出事業者への立入検査を51件行った。

表8 産業廃棄物処理業者数（平成26年度末）

産業廃棄物収集運搬業者	111
特別管理産業廃棄物収集運搬業者	6
産業廃棄物処分業者	23
特別管理産業廃棄物処分業者	1
計	141

表9 管内の産業廃棄物処理施設数（平成26年度末）

焼却施設	1	
破砕施設	17	
最終処分場	4	ミニ処分場※2施設
計	22	

※昭和52年以前に設置された安定型最終処分場もしくは平成9年以前に設置された面積3,000㎡未満の小規模な安定型処分場で設置許可対象外の施設

7 廃棄物の不法投棄等対策

平成17年度から配置された廃棄物監視専門員によるパトロール及び、管内に設置した監視カメラにより不法投棄防止を図った。

不法投棄防止の重点監視地域として浜田市三隅町地内を指定し、地域住民2名を監視モニターに委嘱した。重点監視地域では6月と10月に合同パトロールを実施し、11月に(一社)島根県産業廃棄物協会が公益事業として不法投棄廃棄物の撤去を行った。

8 PCB廃棄物対策

「PCB特措法」に規定するPCB廃棄物保管等事業場は平成26年度末で31事業場となり、JESCOへの搬入処理等により12事業場減少した。

9 自動車リサイクル対策

「自動車リサイクル法」（使用済み自動車の再資源化等に関する法律）に関して事業者の登録数は、使用済み自動車の引取業者は平成26年度末35事業者で11事業者減となった。フロン類回収業者は平成26年度末5事業者で増減はなかった。解体業者の許可状況は、平成26年度末2事業者で増減はなかった。

使用済み自動車の引取業者2事業者、フロン類回収業者2事業者、解体業者2事業者について立入検査を行った。

10 浄化槽対策

「浄化槽法」に規定する浄化槽の設置基数は平成26年度に217基の新設があり、平成26年度末で15,199基となっている。

法定検査で不適正とされた浄化槽8基の立入検査を行ったが、3基について処理目標水質を超過しており、浄化槽管理者に対して維持管理等の指導を

行った。

浄化槽の適正な維持管理を推進するため、(公社)島根県浄化槽普及管理センターと(一社)島根県浄化槽協会の共催で浄化槽設置者講習会が開催され、浜田保健所から講師を派遣した。

島根県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例に基づく、管内の保守点検業者は15業者であり、増減はなかった。

表10 管内の浄化槽設置基数 (平成26年度末)

	浜田市	江津市	計
単独処理	7,381	3,274	10,655
合併処理	3,172	1,372	4,544
新設	(143)	(74)	(217)
合計	10,553	4,646	15,199

11 建築物衛生確保、衛生害虫対策

届出のある特定建築物は25施設であり、平成26年度中の増減はなかった。

管内のビル管理業登録事業者は11業者であり、平成26年度中の増減はなかった。

衛生害虫の相談はハチやマダニ等について、駆除方法の指導等対応を行った。

表11 管内の特定建築物 (平成26年度末)

施設の種類	興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他	計
施設の数	4	4	2	5	2	3	5	25

表12 管内のビル管理業登録事業者数 (平成26年度末)

建築物飲料水貯水槽清掃業者	5
建築物環境衛生総合管理業者	1
建築物ねずみこん虫等防除業	4
建築物清掃業	1

12 公害苦情処理

平成26年度は4件の苦情があり、浜田市や江津市他関係機関と連携した現地調査等によって、関係者に対しての指導及び助言を行った。

公害苦情は法規制のみでは解決が難しい問題が多いので、環境保全に関する理解と当事者相互の協力を求め、迅速な解決に努めた。

13 環境基本計画推進、普及啓発事業

住民、事業者、行政の各主体が連携して自主的かつ積極的に行動する環境保全活動を支援するため、環境情報コーナーを設けて情報の提供を行うとともに、環境学習用貸出機材を整備し、環境活動・学習に取り組む団体等を対象に貸し出しを行った。

《検査課》

検査課は県央、浜田、益田保健所管内の感染症対策、食品衛生対策、環境衛生及び環境保全対策に係る検査を実施している。

1 感染症に関する検査

3類感染症の腸管出血性大腸菌感染症(O26,O111,O157等)について益田保健所依頼分の22検体を検査した。

その他、ノロウイルス感染症について、浜田保健所と益田保健所依頼分の3検体について細菌検査を実施した。

HIV検査については、平成18年度から即日迅速検査を実施しており、平成26年度は40件実施した(表1)。

表1 感染症に関する検査の実施状況

区 分		年 度				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
2類感染症(結核を除く)	培養	0	0	0	0	0
	3類感染症	31	10	9	129	22
H I V		27	37	40	40	40

2 食品衛生関係等の検査

食品の収去検査は県央、浜田、益田保健所管内から収去された食品126検体の細菌学検査を実施した(表2)。保健所別の内訳は浜田66検体、県央19検体、益田41検体となっている(表3)。

食中毒発生時の検査は浜田保健所管内で発生した8事例と益田保健所管内1事例の拭き取り、食材、有症者等の検便60検体について、原因究明のための検査を実施した(表4)。

なお、食品に関する苦情・衛生指導等に係る行政検査の対応はありませんでした(表5)。

表2 収去食品検査の実施状況

区 分		年 度				
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
件数		123	80	105	136	126
細菌検査	一般細菌数	92	62	58	100	94
	大腸菌群	57	37	60	66	38
	サルモネラ属菌	0	0	0	0	0
	黄色ブドウ球菌	63	38	39	70	87
	腸管出血性大腸菌O157	0	0	0	0	0
	その他	45	28	69	88	83
	計	257	165	226	324	302

表3 平成26年度保健所別収去食品検査の実施状況

		浜田保健所	県央保健所	益田保健所
		61	19	37
細菌検査	一般細菌数	49	8	37
	大腸菌群	23	6	9
	サルモネラ属菌	0	0	0
	黄色ブドウ球菌	47	7	33
	腸管出血性大腸菌O157	0	0	0
	E. coli	38	7	28
	乳酸菌	0	0	0
	恒温細菌	0	0	0
	クロストリジウム	3	0	0
	腸炎ビブリオ	0	7	0
	計	160	35	107

表4 食中毒(疑いを含む)検査の実施状況

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
検体数	60	133	51	159	60

※検査は、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、病原性大腸菌、赤痢菌、コレラ菌、セレウス菌、カンピロバクター、ウェルシュ菌、エルシニア、エロモナス、プレシオモナス

表5 その他(食品に関する苦情・衛生指導等に係る行政検査等)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
検体数	18	0	83	0	0

3 環境衛生関係検査

大気汚染関係の検査として、窯業所周辺の環境大気中フッ素化合物について 60 検体（浜田・県央保健所から依頼分）検査を実施した（表 5, 6）。水質検査は、公共用水域等の環境基準水質測定地点（浜田・益田・県央保健所管内）で採水された 259 検体（表 7）、事業場排水及び浄化槽放流水（浜田・益田・県央保健所から依頼）について 130 検体（表 8）、また、その他検体（苦情・事故等を含む）について 10 検体を検査した（表 5, 8）。

表 5 環境衛生関係調査（項目合計）の推移 ()内は検体数

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大気汚染関係	50 (50)	65 (65)	60 (60)	60 (60)	60 (60)
水質関係	1,639(400)	1,764(392)	1,930(429)	1,828(415)	1,756(389)
その他（苦情事故等含む）	24(12)	24(12)	32(16)	29(13)	48(10)

表 6 平成26年度 環境大気中フッ素化合物濃度調査の実施状況

	浜田保健所	県央保健所
検体数	36	24
項目数	36	24

表 7 平成26年度 公共用水域等水質検査の実施状況

	合 計			浜田保健所			益田保健所			県央保健所			
	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	河川	地下水	海水浴場	
総検体数	128	5	126	48	1	82	56	1	16	24	3	28	
一般項目	pH	128	5	126	48	1	82	56	1	16	24	3	28
	DO	120			48			48			24		
	BOD	120			48			48			24		
	COD			126			82			16			28
	SS	120			48			48			24		
	n-ヘキサン												
	大腸菌群	40			16			16			8		
その他	電気伝導度	128	5	126	48	1	82	56	1	16	24	3	28
	糞便性大腸菌			126			82			16			28
	病原性大腸菌			10			8			2			
合 計	656	10	514	256	2	336	272	2	66	128	6	112	

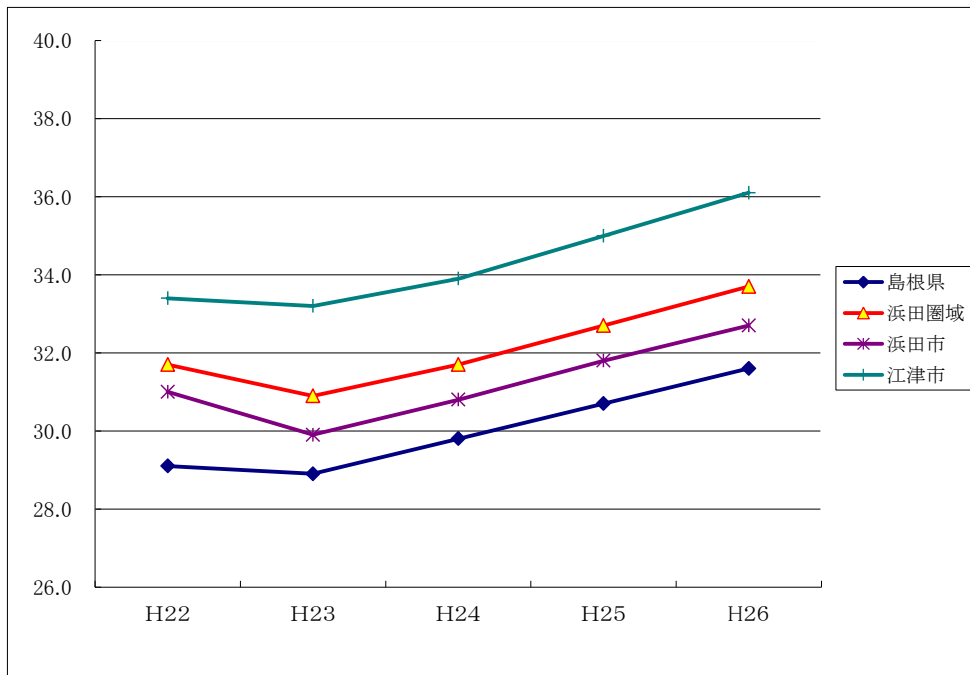
表 8 平成26年度 事業場排水、浄化槽放流水及びその他の水質検査の実施状況

	合 計			浜田保健所			益田保健所			県央保健所			
	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	事業場	浄化槽	その他	
総検体数	90	40	10	47	10	9	21	24		22	6	1	
一般項目	pH	90	40	10	47	10	9	21	24		22	6	1
	DO												
	BOD	73	40	10	34	10	9	19	24		20	6	1
	COD	11			9						2		
	SS	86		9	43		9	21			22		
	n-ヘキサン	31			21			2			8		
	大腸菌群	75		9	38		9	19			18		
その他	電気伝導度	90	40	10	47	10	9	21	24		22	6	1
	糞便性大腸菌												
	病原性大腸菌												
	簡易検査												
合 計	456	120	48	239	30	45	103	72	0	114	18	3	

資料編

◇浜田圏域の高齢化率と推計人口

◇高齢化率の推移



(単位: %)

区分		島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
年	H22	29.1	31.7	31.0	33.4
	H23	28.9	30.9	29.9	33.2
	H24	29.8	31.7	30.8	33.9
	H25	30.7	32.7	31.8	35.0
	H26	31.6	33.7	32.7	36.1

◇H26. 10. 1現在の推計人口

区分		島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
人口数	総人口	697,015	83,744	59,346	24,398
	15歳未満	88,224	9,523	6,756	2,767
	15～64歳	385,038	45,798	32,986	12,812
	65歳以上	220,125	28,227	19,428	8,799

※総人口については年齢不詳を加えている

区分		島根県	浜田圏域	浜田市	江津市
人口割合	15歳未満	12.7%	11.4%	11.4%	11.3%
	15～64歳	55.2%	54.7%	55.6%	52.5%
	65歳以上	31.6%	33.7%	32.7%	36.1%

※人口割合について分母となる総数は年齢不詳を加えている

◇浜田圏域の人口動態

◇人口動態の推移

		出生数		死亡数	(再掲)		自然増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数
		(再掲)	2,500g未満		乳児(1歳未満)死亡数	新生児(生後28日未満)死亡数		総数	自然死産	人口死産	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡		
島根県	H22年	5,756	614	9,109	13	7	-3,353	143	67	76	23	17	6	3,283	1,110
	H23年	5,582	602	9,412	11	5	-3,830	136	51	85	13	9	4	3,058	1,043
	H24年	5,585	584	9,513	11	6	-3,928	138	57	81	19	14	5	3,114	1,014
	H25年	5,534	537	9,572	13	6	-4,038	131	54	77	20	16	4	2,992	1,045
	H26年	5,359	579	9,369	13	3	-4,010	124	65	59	17	17	-	3,023	966
浜田圏域	H22年	642	56	1,241	2	2	-599	11	5	6	2	1	1	351	138
	H23年	609	73	1,294	3	1	-685	11	6	5	1	-	1	344	145
	H24年	593	81	1,240	1	1	-647	17	7	10	2	1	1	331	130
	H25年	591	66	1,304	1	-	-713	11	4	7	-	-	-	317	131
	H26年	596	75	1,256	1	-	-660	15	9	6	3	3	-	370	133
浜田市	H22年	465	38	802	1	1	-337	10	5	5	2	1	1	271	98
	H23年	449	56	880	2	1	-431	7	4	3	1	-	1	256	91
	H24年	429	62	792	-	-	-363	14	5	9	-	-	-	262	102
	H25年	421	51	900	1	-	-479	9	3	6	-	-	-	225	82
	H26年	421	54	866	1	-	-445	9	6	3	2	2	-	266	96
江津市	H22年	177	18	439	1	1	-262	1	-	1	-	-	-	95	47
	H23年	160	17	414	1	-	-254	4	2	2	-	-	-	82	43
	H24年	164	19	448	1	1	-284	3	2	1	2	1	1	106	48
	H25年	170	15	404	-	-	-234	2	1	1	-	-	-	92	49
	H26年	175	21	390	-	-	-215	6	3	3	1	1	-	104	37